電話での緊急連絡、情報収集

防災行政無線電話応答サービス

☎ 050-5533-8194

防災行政無線の放送内容を電話で聞くことができます。

（通話料金は利用者負担となります）

緊急連絡先　※緊急時はつながりにくい場合があります。

- ●火事・救急は … 119
- ●警察は … 110
- ●海上での事故・事件は … 118
- ●古賀市役所（災害対策本部） … 092-942-1111
- ●粕屋警察署 …… 092-939-0110（古賀交番、青柳交番、小野駐在所）
- ●粕屋北部消防本部 …… 092-944-0131

災害用伝言ダイヤル　災害時の家族などへの連絡にご利用ください。

171 にダイヤルし、音声ガイドにしたがう

- 録音の場合 ① → 被災地の人はご自宅の電話番号を被災地以外の人は被災地の人の電話番号を市外局番からダイヤル（市外局番）092-□□□-□□□□ → 伝言を入れる（30秒以内）
- 再生の場合 ② → 被災地の人はご自宅の電話番号を被災地以外の人は被災地の人の電話番号を市外局番からダイヤル（市外局番）092-□□□-□□□□ → 伝言を聞く

モバイル用

このホームページは携帯電話からでもご覧になれます。

詳しくは、https://www.ntt-west.co.jp/dengon/

※伝言の保存期間は録音してから２日(48 時間)です。保存期間を経過した時点で自動的に消去されます。

総合防災マップの使い方

❶自宅の位置・自宅周辺の危険な場所等を確認　各種ハザードマップ（P.27～）

自宅の位置に印をつけ、自宅やその周辺に自然災害による危険な区域（浸水想定区域、土砂災害警戒区域など）がないか確認しましょう。

※海に近い地域、川沿いの地域、山間部など、お住まいの地域によって災害発生のリスクが異なることに十分注意しましょう！

❷避難先・経路を確認　避難所一覧（P.11～13）　各種ハザードマップ（P.27～）

自宅周辺の指定緊急避難場所・指定一般避難所に印をつけ、避難所までの安全な避難経路を各自で検討・確認しましょう。
また、実際に歩いてみて、どのくらい時間がかかるか、注意すべき場所はないか確認しましょう。

❸災害の特性を確認　洪水（P.15～16）　土砂災害（P.17～18）　高潮（P.19）　津波（P.20）　地震（P.21～22）

各種災害の特性や、災害に応じた情報の入手先、災害別の避難のポイントを知り、いざというときの安全な避難行動へつなげましょう。

❹避難情報を確認　日頃の備え【防災気象情報】（P.6～8）

身の安全を守るためには、正確な情報を把握して早め早めの行動を心がけることが重要です。
市から発令される避難情報の種類や、防災気象情報の入手方法について確認しておきましょう。

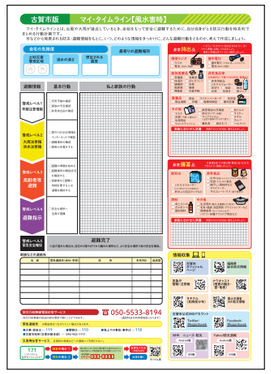
❺日頃から災害に備える　日頃の備え【自助】【共助】（P.1～5）

災害はいつどこで起きてもおかしくありません。災害が起きても落ち着いて避難行動がとれるように、自助・共助の取り組みについて確認しておきましょう。

❻とるべき行動の確認　避難について（P.9～10）、避難生活の心得（P.14）　マイ・タイムライン（別紙）

災害が迫ってきたときにどのような避難行動をとるべきなのか、避難行動判定フロー（P. 9）や避難のポイントについて確認し、家族で話し合っておきましょう。
また、マイ・タイムラインを使って、風水害時の家族の行動計画を考えましょう。

※マイ・タイムラインとは、これから起こるかもしれない災害に対して、周囲の状況を踏まえて、「誰が」「いつ」「何を」するのかを時系列でまとめる行動計画です。ぜひ活用してください。



完全保存版

古賀市 総合防災マップ



もくじ

日頃の備え【自助】…… 1
【共助】…… 3
【防災気象情報】…… 6
避難について …… 9
避難所一覧 …… 11
洪　水 …… 15
土砂災害 …… 17
高　潮 …… 19
津　波 …… 20
地　震 …… 21
ハザードマップについて …… 23
洪水・土砂災害ハザードマップ …… 27
高潮ハザードマップ …… 59
津波ハザードマップ …… 61
地震ハザードマップ …… 63

古賀市

2025年（令和7年）3月作成

地図の確認はこちら！

こがまっぷ　こがまっぷ　検索

日頃の備え【自助】

家族で防災会議

災害は家族が一緒にいるときに起こるとは限りません。いざという時に、あわてず行動できるよう普段から家族で話し合いましょう。また、災害に備えて家の中や家の周りを点検し、危険な箇所は早めに改善するようにしましょう。

家族で話し合いたい項目　チェック!

- □ 家の周りの浸水状況や、土砂災害の危険箇所の確認
- □ 災害が起こった時の身の守り方
- □ 家族間の連絡方法と、離ればなれになったときの家族との集合場所
- □ 災害別の避難行動　避難所とそこへ行く経路
- □ 家族一人ひとりの役割分担

家族の安否確認、非常持出品・備蓄品の準備・点検、避難経路の確保、隣近所への連絡など



※乳幼児・高齢者・病人・妊婦のいる家庭は、移動手段や避難経路などの避難方法も話し合いましょう。

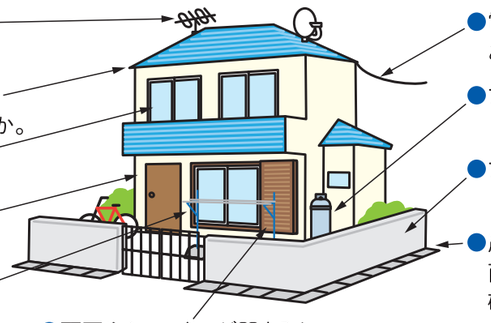
我が家の安全対策を確認

安全と思われる家の中や家の周りに置いてあるものでも、災害時に避難や救助の妨げになるものや、転倒・落下によるケガなどの被害を引き起こすものがあります。災害に備えて日頃から点検する習慣をつけましょう。

家の中の安全対策

- ●家具や窓に飛散防止フィルムを貼るなどガラスの飛散を防止する。
- ●家具の転倒、落下防止のため、金具などで固定する。
- ●重たい荷物は高い所に置かず、床に置いておく。
- ●出入口付近には荷物を置かず避難口を確保する。
- ●停電に備えて、懐中電灯や携帯ラジオと予備の電池を準備しておく。
- ●タコ足配線やコードを束ねて使用しない。
- ●住宅用火災警報器、消火器を設置しておく。

家の外の安全対策



- ●アンテナ、看板などは、針金などを使って補強しておく。
- ●瓦の割れ、ずれ、はがれはないか。トタン屋根のめくれ、はがれはないか。
- ●窓枠のがたつきはないか。ひび割れはないか。
- ●外壁に亀裂はないか。
- ●物干し竿、植木鉢、自転車などが風で飛ばされないようにする。
- ●雨戸やシャッターが閉まるか。
- ●電気の引込線のたるみや破損があったら、電力会社に連絡する。
- ●プロパンガスボンベが固定されているか。
- ●ブロック塀にぐらつきや、亀裂はないか。
- ●農業用水路や、排水溝（下水溝）、雨どいのゴミや泥、落ち葉や土砂を取り除き、水はけを良くしておく。

非常持出品・備蓄品リスト

非常持出品

いざというときすぐに持ち出せるように、日頃から準備・点検しておきましょう。事前に準備出来ているか、確認しましょう。

チェック!

携帯ラジオ
- □ ラジオ
- □ 電池（多めに用意）

懐中電灯
- □ 懐中電灯（できれば一人にひとつ）
- □ 電池（多めに用意）

貴重品
- □ 現金　□ マイナンバーカード　□ 免許証　□ 預金通帳
- □ 印鑑　□ 健康保険証　□ 権利証書

救急医療品
- □ 常備薬
- □ 消毒液
- □ 体温計
- □ ばんそうこう
- □ 鎮痛剤　□ 包帯
- □ 風邪薬　□ 傷薬
- □ 胃腸薬　□ お薬手帳

非常食品等
火を通さないで食べられるもの、食器など
- □ 非常用食品
- □ ミネラルウォーター
- □ 缶切り　□ 缶詰
- □ 紙皿　□ 水筒
- □ 割り箸、スプーン　□ 紙コップ

その他
- □ 携帯トイレ
- □ マスク
- □ 衣類（下着・上着など）
- □ 生理用品
- □ ウェットティッシュ
- □ 携帯電話の充電器
- □ 防災マップ（本書）
- □ ラップフィルム（止血や食器にかぶせて使う）
- □ 離乳食
- □ 紙おむつ
- □ 粉ミルク・液体ミルク、哺乳瓶
- □ タオル
- □ カッパ
- □ ヘルメット

非常備蓄品

災害復旧までの数日間（最低3日）を生活できるように備蓄しましょう。

チェック!

飲料水
- □ ミネラルウォーター（1人1日3リットルを目安に）
- □ 貯水した防災タンクなど

非常食品
- □ お米（缶詰・レトルト・アルファ米も便利）
- □ 缶詰・レトルト食品
- □ 梅干し・調味料など
- □ ドライフーズ・チョコレート・アメ（菓子類など）

燃料
- □ 卓上コンロ
- □ ガスボンベ
- □ 固形燃料

その他
- □ 携帯トイレ
- □ 生活用水（風呂・洗濯機などに貯水）
- □ 毛布・寝袋・洗面用具・ドライシャンプーなど
- □ 調理器具（なべ・やかんなど）
- □ バケツ・各種アウトドア用品など

ここがポイント! おすすめの非常食

●乾物・乾麺
長期保存に適しており、切り干し大根や寒天などは不足しがちなミネラルを手軽に補うことができます。

●お菓子
火を使わず手軽に栄養を補給できるうえ、ストレス解消にも効果的です。

●フリーズドライ食品
お湯などで溶かすだけの簡単調理で様々な栄養を補給できます。最近はバリエーションが豊富です。

●レトルト食品
長期保存もできて普段の食事にも利用できるので、ローリングストックでの備蓄に最適です。



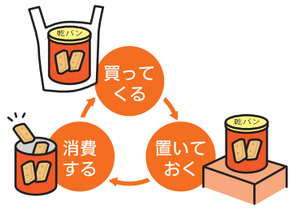
家族構成に合わせた準備

非常持出品・備蓄品は、アレルギー対応の非常食やペットフードなど、家族構成に合わせて必要なものを考えてみましょう。



ローリングストック

非常持出品・備蓄品などで保管する非常食などを、定期的に消費し、その分だけ補充していく備蓄方法です。「食べながら備蓄する」ということができます。



日頃の備え【共助】

近所付き合いから始めよう

災害が発生したとき、頼りになるのは地域住民の助け合いである「共助」です。いざというときに備え、みんなで協力しあって地域を守っていくことが大切です。普段から、ご近所同士であいさつを交わし、顔見知りになることから始めてみましょう。



自主防災組織

自主防災組織とは、地域の皆さんが災害に対して協力し合う組織です。自主防災組織の活動に参加して、災害に強いまちづくりをめざしましょう。

平常時の活動



●防災知識の普及・啓発

防災についての正しい知識を身につけるため、防災講習会などを実施します。

●地域内の点検

地域内の危険箇所や防災上の問題点を点検・整理し、対策しておきます。



●防災資機材の整備・点検

災害時の活動に使用する資機材を準備し、日頃から不備や故障などがないか点検します。

●防災訓練の実施

いざというときに正しい行動がとれるように、災害を想定した防災訓練を定期的に開催します（初期消火訓練、避難所の開設・運営訓練、避難者の誘導訓練　など）。



●地区別防災カルテ

古賀市では、「地区別防災カルテ」を作成しています。

「地区別防災カルテ」とは、地域の皆さんに、地域の危険箇所や避難場所等を把握していただき、災害時の行動に役立てていただくための基礎情報を、カルテとして示したものです。市内の行政区ごとに、地区の概況や災害特性、避難場所、避難経路等を整理し、まとめています。

「地区別防災カルテ」を活用し、事前準備や災害時の行動について地域で考えておきましょう。



災害時の活動

●情報の収集・伝達

災害に関する正しい情報を収集し、住民に伝達します。

また、地域の被害状況などを取りまとめて市役所に報告します。

●初期消火活動

身の安全を第一に考え、消防署や消防団が到着するまでの間、消火器などを使った初期消火に取り組みます。



●救出・救護活動

身の安全を第一に考え、二次災害に注意しながら、負傷者や逃げ遅れた人などを救出・救護します。

●避難誘導活動

高齢者や障がいのある人などを避難場所などの安全な場所まで誘導します。



●給食・給水活動

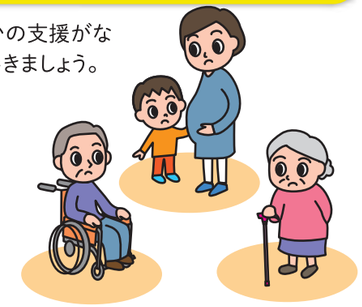
水や食料、応急物資などの配給、炊き出しなどの給食・給水活動をします。



要配慮者を地域で守る

要配慮者とは

「要配慮者」とは、災害が起きたとき、あるいは起きそうなときに、何らかの支援がないと自らの安全を確保できない人たちのことです。地域で協力して支援していきましょう。



想定される主な要配慮者

- 高齢者（一人暮らし高齢者、高齢者のみの世帯　など）
- 介護が必要な人
- 障がいのある人（身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者　など）
- 難病患者、傷病者　●乳幼児・妊婦　●外国人　など

ここがポイント！

要配慮者の特性

①災害の危険を察知することが困難である。
②自分の身に危険が差し迫っていても、助けを求めることが困難である。
③危険を知らせる情報を受け取ることや正しく理解することが困難である。
④危険を知らせる情報が送られてきても、それに対応して行動することが困難である。

要配慮者が災害時に困ることとその配慮

要配慮者の状態は個人差も大きいため、災害時に「困ること」はさまざまです。支援する側の人は、要配慮者が災害時に抱える問題を理解しておきましょう。

高齢者

困ること
・体力に自信がなくて自らの力で避難できないことがあります。
・認知症などで危険察知や状況判断が困難なことがあります。

配慮
明るい声でゆっくりと話しかけ、孤独感や不安感を抱かせないよう配慮しましょう。

子どもや乳幼児のいる家庭

困ること
・子どもや乳幼児を抱えての避難は、持出品などもたくさん持てません。

配慮
子どもや乳幼児を抱えた人を見かけたら、声をかけたり付き添ったりしましょう。

外国人

困ること
・言葉がうまく伝わらないことがあるため、ちょっとしたことで不便を感じるときがあります。

配慮
簡単な日本語やジェスチャー、翻訳アプリなどを使って伝えましょう。

障がいのある人（全般）

困ること
・危険察知や状況判断が困難で、逃げ遅れるおそれがあります。
・日常と異なる状況で、パニックになるおそれがあります。

配慮
気持ちを落ち着かせ、冷静にわかりやすく状況を説明し、避難誘導を行うようにしましょう。

目が不自由な人

困ること
・周辺の様子が変わってしまうため、ひとりで移動できません。
・被災状況がわからないため、危険の度合いを判断することができません。

配慮
おどろかせないように声をかけ、状況を説明し、どのような支援が必要か聞いて行動しましょう。

耳が不自由な人

困ること
・音声での情報には対応できません。
・耳が不自由だからといって、必ずしも手話ができるわけではありません。

配慮
緊急の情報は、文字、手話などの見える情報で状況を説明し、避難誘導を行うようにしましょう。

※要配慮者利用施設の一覧表は、古賀市地域防災計画に記載しています。
【リンク先URL：https://www.city.koga.fukuoka.jp/cityhall/work/somu/saigai/027.php】

避難行動要支援者の避難支援

避難行動要支援者とは

要配慮者のうち、災害時に、支援がなければ自宅から避難できない、家族等による必要な支援が受けられないなど避難に支援を必要とする人を避難行動要支援者といいます。
ただし、施設に入所、長期に入院している人は除きます。

要件区分		
	A	介護保険法における要介護3～5と認定された人
	B	身体障がい者 ●視覚障がい1、2級の人　●肢体不自由1、2、3級の人 ●聴覚障がい2級の人　●内部障がい1、2級の人
	C	知的障がい者　療育手帳A、Bの人
	D	精神障がい者　精神障がい者保健福祉手帳1級の人
	E	70歳以上のひとり暮らしの人で、自力避難が困難で名簿登録を希望する人
	F	75歳以上の高齢者のみ世帯の人で、自力避難が困難で名簿登録を希望する人
	G	その他、災害時において支援が必要と認められる人

→ 避難行動要支援者として名簿に登録されます

→ 名簿への登録を希望する場合は申請が必要です

名簿への登録を希望する場合（上記E、F、Gの人）

E、F の高齢者の要件に該当する人、または G の要件に該当する人（家族と同居しているが一人になる時間帯がある人、施設に入所または入院していたが自宅に戻った人等）は、避難行動要支援者名簿に登録することができます（申請が必要）。

登録（同意）の流れ



避難行動要支援者を避難支援する流れ

避難行動要支援者に該当する人

↓

市：避難行動要支援者名簿を作成

↓

市：避難行動要支援者名簿に登録した人に、支援に関する情報を地域など外部に提供することについて同意または不同意を確認

同意の場合（平常時、災害時に活用）

平常時から避難支援等関係者および避難支援者に情報提供

↓

避難支援者の確保、個別計画の作成、地域の防災訓練、安否確認等で活用

不同意の場合（災害時のみ活用）

平常時は、市が情報を保有し災害時のみ避難支援等関係者および避難支援者に情報提供

↓

安否確認等で活用

↓

避難行動要支援者の避難支援につながります

日頃の備え【防災気象情報】

災害の危険が迫ったとき、身の安全を守るためには、正確な情報を把握して、早め早めの行動を心がけることが重要です。

1 正確な情報の入手	●テレビやラジオなどで最新の気象情報を入手しましょう。
2 早めの行動を	●テレビなどの情報以外に、スマートフォンアプリなどで自宅周辺の雨の降り方や浸水の状況にも注意しましょう。 ●危険を感じたら、非常持出品を用意して避難の準備を始めるなど、意識して早めの行動をとるようにしましょう。
3 避難の呼びかけに注意	●危険が予想される状況になった場合、市が避難を呼びかけますので、呼びかけがあったら速やかに避難を始めましょう。
4 隣近所で声をかけあい早めの避難	●避難する際は、隣近所で声をかけあい、お互いに助け合いましょう。

避難を促す情報（5段階の警戒レベル）

土砂災害や洪水等の災害について、情報をより早く、より正確に知り、避難情報に応じた避難行動をとりましょう。

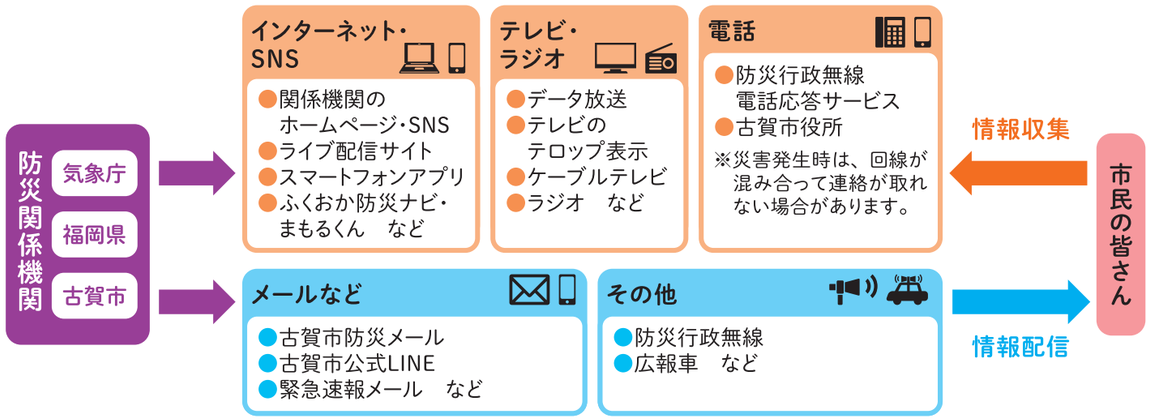
警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	行動を促す情報
5	災害発生または切迫	命の危険　直ちに安全確保！	緊急安全確保※1【市が発令】
	＜警戒レベル4までに必ず避難！＞		
4	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示【市が発令】
3	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難※2	高齢者等避難【市が発令】
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水・高潮注意報【気象庁が発表】
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報【気象庁が発表】

※1 市が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令されるものではありません。
※2 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ、外出を取りやめるなど普段の行動を見合わせ始め、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。
（注）各種の情報は、警戒レベル1～5の順番で発表されるとは限りません。状況が急変することもあります。

警戒レベル3 や **警戒レベル4** の段階で、
地域の皆さんで声をかけあって、確実に安全な場所に避難しましょう。

防災気象情報の伝達経路

市では、災害発生のおそれのあるときや、災害の発生が確実なときは『災害対策本部』を設置し、対応します。また、災害の危険が高まり、避難が必要となる場合には、避難情報を発表します。内容と周囲の状況に注意して行動しましょう。



インターネットからの情報収集

※URLはPC向けサイトを示しています。

古賀市オフィシャルページ
古賀市　検索
https://www.city.koga.fukuoka.jp/

福岡県　総合防災情報
福岡県　総合防災情報　検索
http://doboku-bousai.pref.fukuoka.lg.jp/gis_top/

気象庁　警報・注意報
気象庁　警報・注意報　検索
https://www.jma.go.jp/bosai/warning/

ナウキャスト（雨雲の動き・雷・竜巻）
気象庁　ナウキャスト　検索
https://www.jma.go.jp/bosai/nowc/

キキクル（危険度分布）
気象庁　キキクル　検索
https://www.jma.go.jp/bosai/risk/

国土交通省　川の防災情報
川の防災情報　検索
https://www.river.go.jp/index

国土地理院　重ねるハザードマップ
重ねるハザードマップ　検索
https://disaportal.gsi.go.jp/hazardmap/maps/index.html

住所入力や現在地検索するだけで、その地点の災害リスクや災害時にとるべき行動が文字で表示される機能があります。
音声読み上げソフトを使用すれば、視覚障がいのある人にも利用可能となっています。

テレビ（データ放送）からの情報収集

地上デジタル放送対応のテレビでは、リモコンの『d』ボタンを押すことで天気予報や災害に関する情報を確認することができる「データ放送」を配信しています。
NHKや民放各局で配信されており、河川水位や雨量の状況も知ることができます。

KBCテレビの「dボタン広報誌」では、市のお知らせに加えて災害発生時の避難情報などが配信されます。



スマートフォンアプリからの情報収集

ふくおか防災ナビ・まもるくん
ふくおか防災ナビ・まもるくん　検索
iOS版　Android版

NHK　ニュース・防災
NHK　防災アプリ　検索
iOS版　Android版

Yahoo!防災速報
ヤフー　防災アプリ　検索
iOS版　Android版

多言語で情報を伝えるアプリ

●NHK　WORLD-JAPAN
日本やアジアのニュースを伝えます。地震・津波の緊急情報もお知らせします。

●多言語音声翻訳アプリ【VoiceTra】
自分が話しかけると、外国語に言いかえてくれます。

ここがポイント！

逃げなきゃコール
逃げなきゃコール　検索
スマートフォンアプリなどの地域登録機能を使って、離れた場所に暮らす家族などの大切な人が住む地域を登録して、地域に警戒情報の通知が出された際に、直接電話をかけて避難行動を呼びかける取り組みです。あなたの「逃げて」が大切な人を災害から守ることにつながります。

メールなどでの情報収集

古賀市防災メール

●配信する情報
- ●防災 …… 災害時の緊急のお知らせ、気象庁発表の警報など
- ●防犯 …… 不審者情報など
- ●市からのお知らせ　… 防災行政無線からの放送内容

携帯電話用QRコード

●登録方法

❶空メール送信 …bousai.koga-city@raiden.ktaiwork.jp または QR コード

※迷惑メール対策等を設定されている方は、ドメイン「ktaiwork.jp」からのメール受信を許可してください。詳しくは携帯電話通信会社のホームページでご確認いただくか、サービスショップにご相談ください。

❷配信情報の登録
登録用サイトのアドレスが添付されたメールが届きますので、受信する情報（防災、防犯、市からのお知らせ）を選択して登録完了です。

※メールを受信してから一週間以内に本登録をしてください。

古賀市公式SNSアカウント

LINE
@koga-city
①QRコードから友達登録
②画面下をタップして、メニューから「防災」をクリック
③「防災メール受信設定」をクリック
④「設定する」をクリック

X（旧Twitter）
@kogacityweb

Facebook
@kogacityweb

緊急速報メール・エリアメール



気象庁が配信する情報（緊急地震速報、津波警報など）、市が発信する災害・避難情報を、特定地域内のスマートフォン・携帯端末に対して一斉配信します。観光や仕事、一時的に滞在している人も受信できます。
（登録不要、受信料無料ですが、受信設定については各携帯電話会社 Web サイトをご確認ください。）

避難について

とるべき避難行動

災害発生時に人は“自分は大丈夫”といった「正常化の偏見（バイアス）」という心理状態に陥るといわれています。
そのような状態にならないよう、次のような点に気をつけておきましょう。

- 「避難しよう」と判断するのはあなた自身です。避難することで助かるのは、「あなたの命」であることを強く認識してください。
- 実際に災害が発生せず、避難したことが「空振り」に終わったとしても、「被害がなくて幸運だった」と前向きに受け止めましょう。
- 過去の災害で大丈夫だったからといって安心できません。過去より悪い方向に状況が進む場合があります。
- 夜間から明け方にかけて大雨や台風の接近が予想される場合は、明るい時間帯での避難を呼びかけます。早めの避難行動を心がけてください。

避難行動判定フロー

「自分の命は自分で守る」という意識を持ち、自宅周辺の災害の危険性やとるべき避難行動を平常時に確認しておきましょう。

□ハザードマップで自宅の位置を確認し、印をつけましょう。

↓

□ 自宅がある場所に色が塗られていますか？
（浸水想定区域、土砂災害警戒区域など）

- いいえ → 安全な場所にいる人まで避難場所に行く必要はありません。しかし、色が塗られていなくても、災害の危険性について調査・解析されていない地域もあります。
  低い土地や川沿い、がけのそばなどにお住まいの人は、市からの避難情報や防災気象情報に注意し、必要に応じて避難してください。
- はい → 原則として **立退き避難**（自宅以外の安全な場所へ避難）をしてください。



例外：※浸水想定区域内にお住まいの人で、次の3つが確認できれば**屋内安全確保**（在宅避難）も可能です。
①家屋倒壊等氾濫想定区域の外側である。
②浸水深よりも高いところにいる。
③浸水しても水が引くまで我慢できる、水や食料などの備えが十分にある。



□ご自身または一緒に避難する人が、避難に時間が必要ですか？
※高齢者、障がいのある人、乳幼児など

- いいえ →
  - □安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？安全なホテル・旅館がありますか？
    - はい → **警戒レベル3**が出たら、
      ①安全な親戚宅や知人宅に避難しましょう。
      ※日頃から相談しておきましょう。
      ②安全なホテルや旅館に避難しましょう。
      ※宿泊料や事前の予約が必要です。
    - いいえ → **警戒レベル3**が出たら、市が開設した指定緊急避難場所に避難しましょう。
      ※市からの防災情報に注意しましょう。
- はい →
  - □安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？安全なホテル・旅館がありますか？
    - はい → **警戒レベル4**が出たら、
      ①安全な親戚宅や知人宅に避難しましょう。
      ※日頃から相談しておきましょう。
      ②安全なホテルや旅館に避難しましょう。
      ※宿泊料や事前の予約が必要です。
    - いいえ → **警戒レベル4**が出たら、市が開設した指定緊急避難場所に避難しましょう。
      ※市からの防災情報に注意しましょう。

避難にかかる時間

避難にかかる時間を計算して、避難行動を開始するタイミングを考えましょう。

500m歩くのにかかる時間（目安）
大人：約6～8分　高齢者：約10分



①避難準備にかかる時間　約　　分　＋　②避難所等までの時間　約　　分　＝　③避難にかかる時間　約　　分

在宅避難のポイント

●今後の防災情報に注意

身の危険を感じた場合は避難しましょう。

●ライフラインが停止した場合を想定

住む場所が安全だったとしても、ライフラインが停止している場合があります。
在宅避難をする場合は、数日間（最低7日）の備蓄品などを準備しておきましょう。

備蓄品の項目はP.2をチェック

電気（早い）／水道／ガス（遅い）　ライフラインが復旧するまでの目安

- **電気・ガスが止まった！**：・電化製品が使えない。・明かりがつかない。・ガスが使えない。 → 卓上コンロやLEDランプを準備！
- **水道が止まった！**：・水道・トイレが使えない。 → 簡易トイレの準備！

避難のポイント

●速やかに避難

避難に関する情報が発表されたら、速やかに避難しましょう。避難の際には警察・消防などの指示に従いましょう。

●災害用伝言板・SNSで連絡する

電話が通じなくなることを想定し、SNSなどの連絡手段を複数用意しましょう。



●高齢者などには気配りを

近所に高齢者や病気の人がいる場合は、声を掛け合って一緒に避難しましょう。

●避難する前に

電気のブレーカーを落とし、ガスなどの元栓を閉め、親戚や知人などに避難することを連絡しておきましょう。

●車での避難は控えて

車での避難は緊急車両の通行の妨げになり、交通渋滞を招きます。特別な場合を除き徒歩で避難しましょう。



災害時に特別な配慮を要する人への支援

高齢者や障がいのある人など、災害時において特に配慮を要する人は、地域の皆さんの支援が必要です。

●高齢者・病気の人

- 背負う（または担架、リヤカーなどを利用する）などして安全な場所まで避難する。
- 複数の介助者で対応する。

●車いすを利用している人

- どのように介助したらいいか、本人に確認する。
- 階段では介助者2人以上が必要。
- 上りは前向き、下りは後ろ向きにして移動する。



●目の不自由な人

- 声をかけ、情報を伝える。
- 誘導する場合は、杖を持った方の手には触れず、ひじや肩のあたりを軽く持ってもらい、半歩前をゆっくり歩く。



●耳の不自由な人

- 筆談、身振り、手話、スマートフォンの画面を見せるなどの方法で正確な情報を伝える。
- 話すときは、口をハッキリと開け、口の形や動きが相手にわかりやすいようにする。

避難所一覧

■ **指定緊急避難場所** …… 災害から命を守ることを最優先として緊急に災害の危険から逃れるための施設または場所。

● **指定一般避難所** …… 災害により住宅を失った場合等において、一定期間避難生活をする施設。
（原則、指定緊急避難場所を兼ねます）

※指定緊急避難場所、指定一般避難所は、災害の状況等に応じて下記施設等から開設し、防災メールやホームページ、防災行政無線等でお知らせします。

「避難行動判定フロー」P.9を確認し、指定緊急避難場所に避難する必要がある人は、「非常持出品」P.2を参考に必要な物資（3日分程度）を持って避難しましょう。避難に支援が必要な人は「避難行動要支援者の避難支援」P.5を確認しましょう。
指定緊急避難場所は、命を守るため、一時的に避難する場所です。施設により設備は異なるため、非常持出品を準備しましょう。

校区	番号	避難所名称（★は市が災害時に協定している避難施設）	海抜（m）	災害別対応（○:使用可能、×:使用不可）						指定一般避難所
				洪水	内水	土砂災害	高潮	津波	地震	
古賀東	1	古賀東小学校	21.0	○	○	○	○	○	○	●
	2	古賀中学校	13.1	○（2階以上）	○	○	○	○	○	—
	3	古賀東中学校	37.6	○	○	○	○	○	○	—
	4	筵内区公民館	28.2	○	○	○	○	○	○	—
	5	久保区公民館	20.8	○	○	○	○	○	○	—
	6	久保西区公民館	10.7	○	○	○	○	○	○	—
	7	庄北区公民館	10.2	○（2階を使用）	○	○	○	○	○	—
	8	庄南区公民館	10.0	○（2階を使用）	○	○	○	○	○	—
	9	古賀団地区公民館	7.1	○	○	○	○	○	○	—
	10	中央区公民館	9.4	○	○	○	○	○	○	—
	11	サンコスモ古賀	12.2	○（2階以上）	○	○	○	○	○	—
	12	古賀清掃工場	63.5	○	○	○	○	○	×	—
古賀西	13	古賀西小学校	2.7	○（2階以上）	○	○	×	○	○	●
	14	古賀南区公民館	7.1	○	○	○	○	○	○	—
	15	中川区公民館	5.0	○	○	○	×	○	○	—
	16	鹿部区公民館	17.3	○	○	○	○	○	○	—
	17	日吉台区公民館	6.7	○	○	○	○	○	○	—
	18	古賀北区公民館	3.5	○	×	○	×	○	○	—
	19	サンリブ古賀★	8.1	○	○	○	○	○	×	—
	20	正興電機製作所★	5.3	○	○	○	×	○	○	—
	21	ししぶ交流センター	10.9※	○	○	○	○	○	○	—
青柳	22	青柳小学校	9.5	○（2階以上）	○	○	○	○	○	●
	23	新原区公民館	19.1	○	○	○	○	○	○	—
	24	今在家区公民館	9.2	×	○	○	○	○	×	—
	25	青柳区公民館	14.7	○	○	○	○	○	○	—
	26	小竹区公民館	28.9	○	○	○	○	○	×	—
青柳	27	町川原1区公民館	14.7	○	○	○	○	○	○	—
	28	町川原2区公民館	32.8	○	○	○	○	○	×	—
	29	ひだまり館	20.8	○	○	○	○	○	○	—
	30	クロスパルこが★	34.2	○	○	○	○	○	○	—
	31	福岡県動物愛護センター★	32.6	○	○	○	○	○	○	—
	32	JA粕屋北部プラザ★	18.0	○	○	○	○	○	×	—
	33	クラブハウス 古賀支店★	8.4	○（屋上を使用）	○	○	○	○	×	—
	34	青柳児童センター	27.6※	○	○	○	○	○	○	—
小野	35	小野小学校	50.9	○	○	○	○	○	○	●
	36	谷山区公民館	37.8	○	○	○	○	○	○	—
	37	小山田区公民館	48.9	○	○	×	○	○	×	—
	38	薬王寺区公民館	59.5	○	○	○	○	○	×	—
	39	上米多比公民館	74.7	○	○	○	○	○	○	—
	40	下米多比公民館	54.9	○	○	○	○	○	○	—
	41	薦野区公民館	84.9	○	○	○	○	○	○	—
	42	りびんぐ紀水庵★	44.4	○	○	○	○	○	○	—
	43	やまびこ幼稚園★	66.6	○	○	○	○	○	○	—
	44	小野公園美原園★	68.1	○	○	○	○	○	○	—
花鶴	45	花鶴小学校	10.1	○	○	○	○	○	○	●
	46	古賀東区公民館	6.7	×	○	○	○	○	○	—
	47	花鶴丘1丁目区公民館	6.0	×	○	○	○	○	○	—
	48	花鶴丘2丁目1区集会所	6.9	×	○	○	○	○	○	—
	49	花鶴丘2丁目2区集会所	9.5	○	○	○	○	○	×	—
	50	花鶴丘2丁目3区公民館	6.6	×	○	○	○	○	○	—
	51	花鶴丘3丁目区公民館	14.8	○	○	○	○	○	○	—
	52	あおやぎ古賀会館★	8.3	○	○	○	○	○	○	—
	53	リーパスプラザこが	9.8※	○	○	○	○	○	○	—
	54	古賀市役所	6.7※	○（2階以上）	○	○	○	○	○	—
	55	古賀市海津木苑	20.6※	○	○	○	○	○	○	—
千鳥	56	千鳥小学校	17.5	○	○	○	○	○	○	●
	57	古賀北中学校	21.0	○	○	○	○	○	○	—
	58	病院区集会所	9.7	○	○	○	○	○	×	—
	59	千鳥北区公民館	13.3	○	○	○	○	○	○	—
	60	千鳥南区公民館	17.3	○	○	○	○	○	○	—
	61	さや団地区集会所	13.3	○	○	○	○	○	○	—

※海抜ではなく、国土地理院地図の標高データを使用しています。

※海抜ではなく、国土地理院地図の標高データを使用しています。

校区	番号	避難所名称（★は市が災害時に協定している避難施設）	海抜（m）	災害別対応 （○:使用可能、×:使用不可）						指定一般避難所
				洪水	内水	土砂災害	高潮	津波	地震	
千鳥	62	高田教育集会所	19.8	○	○	○	○	○	×	—
	63	千鳥タウンコート区集会所	12.7	○	○	○	○	○	○	—
	64	東浜山団地区集会所	17.9	○	○	○	○	○	○	—
	65	千鳥苑	18.1	○	○	○	○	○	○	—
	66	福岡女学院看護大学★	11.0	○	○	○	○	○	○	—
	67	天理教西海大教会★	15.1	○	○	○	○	○	○	—
	68	千鳥児童センター	15.0※	○	○	○	○	○	○	—
舞の里	69	舞の里小学校	28.0	○	○	○	○	○	○	●
	70	舞の里1区集会所	13.3	○	○	○	○	○	○	—
	71	舞の里2区集会所	17.8	○	○	○	○	○	○	—
	72	舞の里3区集会所	19.8	○	○	○	○	○	○	—
	73	舞の里4区集会所	24.5	○	○	○	○	○	○	—
	74	舞の里5区集会所	32.3	○	○	○	○	○	○	—
花見	75	花見小学校	5.7	○	○	○	○	○	○	●
	76	花見南区公民館	6.9	○	○	○	○	○	○	—
	77	花見東1区公民館	4.4	○	○	○	×	○	○	—
	78	花見東2区公民館	7.4	○	○	○	○	○	○	—
	79	北花見区集会所	3.0	○	○	○	×	○	×	—
	80	暁の星幼稚園★	9.9	○	○	○	○	○	○	—
	81	正興電機製作所青和寮★	4.8	○	○	○	×	○	○	—
	82	トライアル古賀花見店★	7.9※	○	○	○	○	○	○	—

※海抜ではなく、国土地理院地図の標高データを使用しています。

■ **指定福祉避難所** … 一般の避難所生活が困難な要配慮者（高齢者、障がいのある人など）を受け入れるための施設。

校区	番号	避難所名称（★は市が災害時に協定している避難施設）	海抜（m）	災害別対応 （○:使用可能、×:使用不可）					
				洪水	内水	土砂災害	高潮	津波	地震
古賀東	1	サンコスモ古賀	12.2	○（2階を使用）	○	○	○	○	○
青柳	2	ひだまり館	20.8	○	○	○	○	○	○
千鳥	3	福岡県障害者リハビリテーションセンター★	18.6	○	○	○	○	○	○
	4	福岡県立古賀特別支援学校小・中学部★	22.8	○	○	○	○	○	○
	5	福岡県立古賀特別支援学校高等部★	23.0	○	○	○	○	○	×
舞の里	6	福岡県立玄界高等学校★	20.0	○	○	○	○	○	×

避難生活の心得

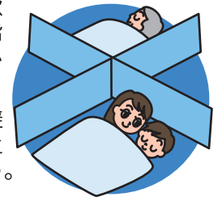
大規模災害では、ライフラインの停止などにより、避難生活が長期化する可能性があります。
自宅が危険な状態になった場合は指定緊急避難場所・指定一般避難所等に避難しますが、車の中で寝泊まりしたり（車中泊避難）、被災を免れた自宅で避難生活を送ったり（在宅避難）することもあります。
避難生活は不自由で困難なものです。1日も早く災害前の生活を取り戻すために、被災者同士で積極的に助け合いましょう。

避難生活の注意点

共同生活における注意点



●性別で役割分担を固定したり、一部の人だけに負担が集中したりしないように、できることをみんなで分担・協力し合いましょう。
●居住スペースでの飲酒は控え、喫煙は指定された場所で行いましょう。
●起床から消灯まで避難所で定められた生活時間を守りましょう。



健康管理における注意点

●メンタルヘルス（心の健康）

避難所生活では、災害で大きな被害を受けたことへのショック、不自由な状況や将来的な生活再建への不安などを和らげるメンタルヘルス対策も重要です。苦しいときは遠慮せず、避難所を訪れる医療や福祉の専門家に相談しましょう。

●感染症対策



●こまめに手洗い・うがいをしましょう。
咳やくしゃみが出るときはマスクを着用しましょう。
●食事前には必ず手洗いをし、食べ物には素手で触らないようにしましょう。
●生ものは避け、食材はできるだけ加熱調理しましょう。賞味期限にも注意しましょう。

避難所生活における配慮

要配慮者への配慮

誰もが安心して避難生活が送れるよう、多様な人に配慮したスペース作りに心がけましょう。

●乳幼児スペース
●多目的スペース
●情報コーナー
●福祉スペース
●相談窓口の設置 など

ペットの管理

避難所ごとにペットの受入れ方や条件が異なります。
ペットを連れて避難する場合は、避難所のルールに従って、飼い主が責任を持ちましょう。

女性や性的少数者（LGBTQ）への配慮

様々な視点を活かした避難所運営を行いましょう。

●女性担当者の配置

避難所運営組織には女性担当者を配置し、女性の視点を取り入れられる環境づくりを積極的に行いましょう。また、女性が必要とする物資は女性担当者から配布したり、人目を気にせず受け取ることができるような体制をとりましょう。

●男女を問わず利用できるスペースの確保

トイレや更衣室等のスペースには、男女別のスペースだけでなく、男女を問わず利用できるスペースも確保するようレイアウトや利用ルールを検討しましょう。また、各スペースには段ボールやパーテーションを活用し、プライバシーが守られる空間づくりを心がけましょう。

●暴力や犯罪の防止

避難所での暴力や犯罪を防止するため、トイレや更衣室等の専用スペースの設置には、昼夜を問わず安心して使用できる場所や通路を確保しましょう。パトロールの実施や防犯ブザーの配布、暗い場所での照明の設置など、安全・安心の確保に努めましょう。

車中泊避難の注意点

車中泊避難は、プライバシーの確保、エアコン完備、カーラジオからの情報入手などといった利点がある一方で、エコノミークラス症候群や一酸化炭素中毒など健康上の危険に十分注意する必要があります。

●車上荒らしの危険や、ガソリンが入手しにくい場合がある。
●排気音や排気ガスが気になり、長時間エアコンをかけられない。
●避難者として把握されにくく、支援情報などを把握しにくい。



洪　水

関連WEBサイト

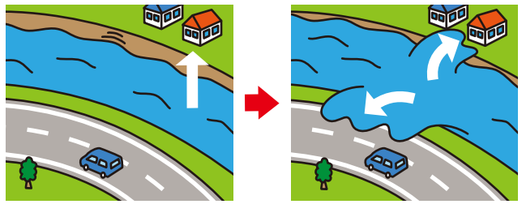
気象庁　洪水キキクル　検索

福岡県　総合防災情報　検索

氾濫（はんらん）の種類

外水氾濫

川の水が堤防からあふれる、または堤防が決壊して起きる洪水

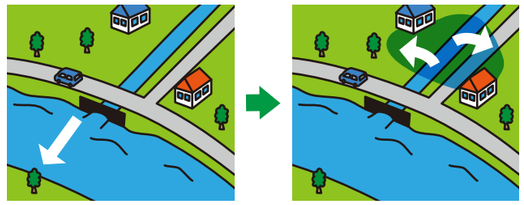


大雨によって川の水が増え、水位が上がり始める。

堤防いっぱいに水が増えると、堤防を越えて水があふれたり、堤防が決壊したりして、洪水が発生する。

内水氾濫

川の水位が上昇して排水できなくなり、水路などから水があふれて起きる浸水害



平地に降った雨は、側溝や水路などを通って川に排水される。

側溝や水路の排水能力を超える大雨が降ると、側溝や水路からあふれだし、道路や宅地が浸水する。

※外水氾濫より内水氾濫の方が先に発生する場合があります。また、内水氾濫発生箇所は、側溝のふたが外れたり、水路等が見えなくなり転落のおそれがあるため、通行の際は注意が必要です。

雨の降り方と強さ

1時間雨量	10～20mm	20～30mm	30～50mm	50～80mm	80mm以上	110mm
予報用語	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨	記録的短時間大雨情報
人の受けるイメージ	ザーザーと降る	どしゃ降り	バケツをひっくり返したように降る	滝のように降る	息苦しくなるような圧迫感がある	数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨（気象台が発表）



※今いる場所で雨が降っていなくても、周辺や山間部で大雨が降っていたり、雷鳴が聞こえたりした場合は、急な河川の増水や局地的な大雨が降るおそれがあるため、気象情報をよく確認してください。

局地的大雨に注意

局地的大雨は、発達した積乱雲に伴って発生します。短時間のうちに雲がもくもくと大きくなって周囲が薄暗くなるようなときには、災害が発生する可能性が高まっていることを意識してください。

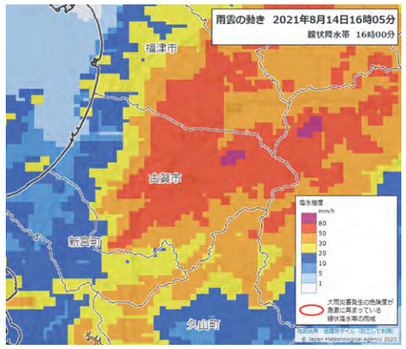
次のような現象を確認して危険を感じたら、すぐに身の安全を確保しましょう。

- 真っ黒い雲が近づき、あたりが急に暗くなる。
- 雷鳴が聞こえたり、雷の光が見えたりする。
- 急に冷たい風が吹く。
- 大粒の雨やひょうが降り出す。



雨雲の動き（高解像度降水ナウキャスト）

5分ごとに1時間先までの雨雲の動きを確認できます。



※気象庁ホームページより

雨雲の動き

https://www.jma.go.jp/bosai/nowc/

河川の基準水位

		庄橋（大根川）
▼堤防を越える		
▼氾濫危険水位	河川が氾濫するおそれがある水位	2.69m
▼避難判断水位	避難情報発表の目安となる水位	2.41m
▼氾濫注意水位	河川の氾濫の発生を注意する水位	1.98m
▼水防団待機水位	水防団（消防団）が待機する目安となる水位	1.64m

堤防

※洪水浸水想定区域内にお住まいの人は特に市からの情報に注意してください。

川の水位情報

福岡県総合防災情報

危機管理型水位計

洪水時の水位観測に特化した水位計で、河川の水位が上昇した時に自動的に作動し水位を観測します。（平常時は1日1回のみ）

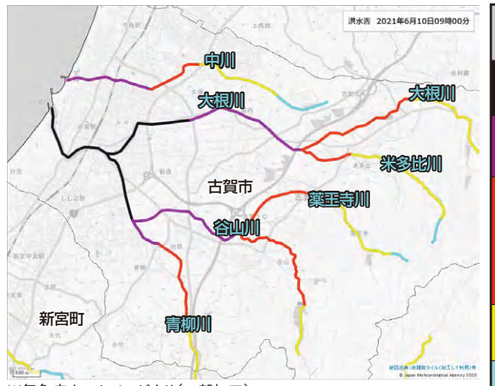
※「福岡県総合防災情報」から確認できます。



洪水キキクル（洪水警報の危険度分布）

中小河川の洪水災害発生の危険度の高まりを、5段階に色分けして示す情報です。

避難にかかる時間等を考慮して、3時間先までの雨量予測値（10分ごとに更新）を用いており、洪水警報等が発表されたときに、どこで危険度が高まっているかを把握することができます。



※気象庁ホームページより（一部加工）

https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#elements:flood/

色が持つ意味	住民等の行動の例	目安となる避難情報	相当する警戒レベル
災害切迫	（立退き避難がかえって危険な場合）命の危険　直ちに身の安全を確保！	緊急安全確保	5相当
危険	水位が一定の水位を超えている場合には、安全な場所へ避難する。	避難指示	4相当
警戒	水位が一定の水位を超えている場合には、高齢者等は安全な場所へ避難する。高齢者等以外の人も、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自ら避難の判断をする。	高齢者等避難	3相当
注意	ハザードマップ等により避難行動を確認する。今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意する。	—	2相当
今後の情報等に留意	今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意する。	—	—

洪水キキクル

避難のポイント（洪水編）

●避難のときの靴



長靴は水が入ると歩きにくく危険です。裸足やスリッパも禁物です。なるべく運動靴をはきましょう。

●これは危険！

大雨時の田んぼの見回りはやめましょう。





垂れ下がった電線には近づいたり、触ったりしないようにしましょう。

●移動するときの注意点



足元が見えないことが多いので、よく通っている道でも道路の真ん中を杖でつきながら慎重に歩きましょう。

橋を渡らないようにしましょう。



土砂災害

関連WEBサイト

気象庁　土砂キキクル　検索

福岡県　総合防災情報　検索

土砂災害防止法

福岡県では、土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律（土砂災害防止法）に基づき、土砂災害が発生するおそれがある区域として、「土砂災害警戒区域」「土砂災害特別警戒区域」を指定しています。

土砂災害警戒区域（イエローゾーン）

がけ崩れ等の土砂災害が発生した場合に、住民等の生命または身体に危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域で、危険の周知、警戒避難体制の整備が行われます。

土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）

がけ崩れ等の土砂災害が発生した場合に、建築物に損壊が生じ、住民等の生命または身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域で、特定の開発行為の制限、建築物の構造規制等が行われます。

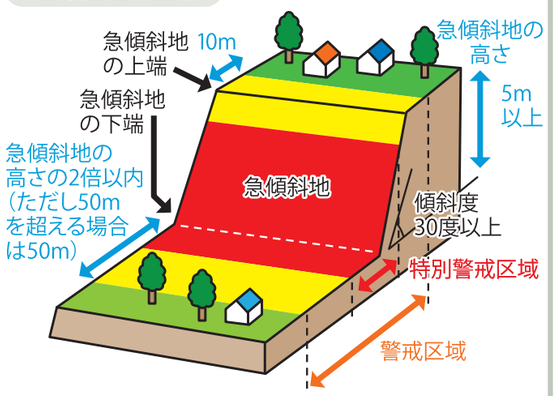
※指定区域の詳しい内容については、福岡県ホームページまたは古賀市役所（総務課）でご確認ください。

土砂災害の種類とその前兆現象

急傾斜地の崩壊（がけ崩れ）

斜面の地表に近い部分が、雨水の浸透や地震等でゆるみ、突然崩れ落ちる現象です。

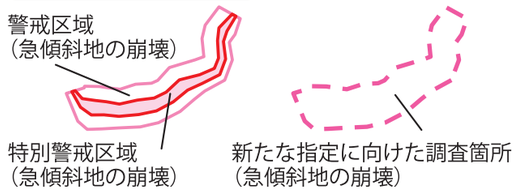
区域指定の基準



前兆現象

- がけに割れ目が見える
- がけから水が噴出する
- がけから小石がパラパラ落ちてくる

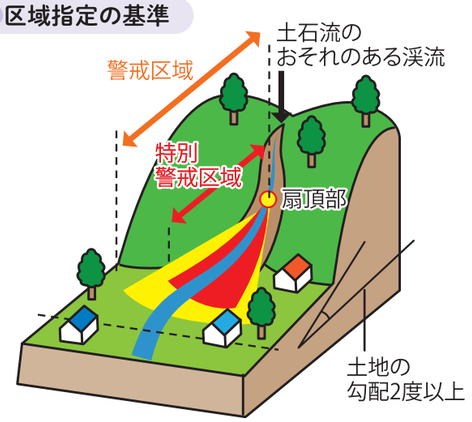
ハザードマップの表示



土石流

山腹や川底の石、土砂が長雨や集中豪雨等によって、一気に下流へと押し流される現象です。

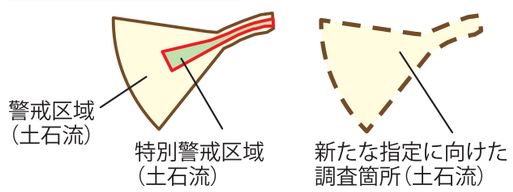
区域指定の基準



前兆現象

- 山鳴りがする
- 川の水が濁り、流木が混ざりはじめる
- 雨が降り続いているのに川の水位が下がる

ハザードマップの表示



福岡県が公表している、土砂災害警戒区域等の新たな指定に向けた調査箇所は、ハザードマップ上に点線で表示しています。

※新たな調査箇所は、高精度地形図を用いて抽出を行ったものであり、土砂災害防止法に基づく現地調査の結果、土砂災害警戒区域等の範囲が異なることや、指定基準を満たさず、区域指定を行わないことがあります。

土砂災害警戒情報（警戒レベル4相当）

福岡管区気象台

福岡県総合防災情報

大雨警報（土砂災害）が発表されている状況で、命に危険を及ぼす土砂災害がいつ発生してもおかしくない状況となったときに、対象となる市町村を特定して警戒を呼びかける情報で、福岡県と福岡管区気象台が共同で発表します。

土砂災害警戒情報が発表されたら

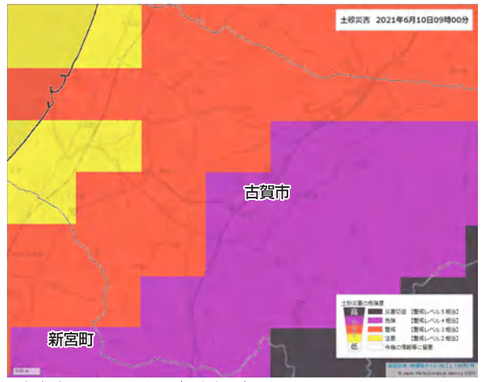
- 土砂キキクルや福岡県総合防災情報で自宅周辺の危険度を確認しましょう。
- 古賀市が発表する避難情報に注意しましょう。
- 周囲の状況や雨の降り方に注意し、危険を感じたらすぐに避難しましょう。

土砂キキクル（大雨警報（土砂災害）の危険度分布）

土砂キキクル

土砂災害の危険度の高まっている地域を1km四方（メッシュ）の領域ごとに5段階で色分け表示しています。

避難にかかる時間等を考慮して、土壌雨量指数の2時間先までの予測値（10分ごとに更新）を用いており、大雨警報（土砂災害）、土砂災害警戒情報、記録的短時間大雨情報等が発表されたときに、どこで危険度が高まっているかを把握することができます。



※気象庁ホームページより（一部加工）

色が持つ意味	住民等の行動の例	目安となる避難情報	相当する警戒レベル
災害切迫	（立退き避難がかえって危険な場合） 命の危険　直ちに身の安全を確保！	緊急安全確保	5相当
危険	土砂災害警戒区域等の外へ避難する。	避難指示	4相当
警戒	高齢者等は土砂災害警戒区域等の外へ避難する。 高齢者等以外の人も、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自ら避難の判断をする。	高齢者等避難	3相当
注意	ハザードマップ等により避難行動を確認する。 今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意する。	—	2相当
今後の情報等に留意	今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意する。	—	—

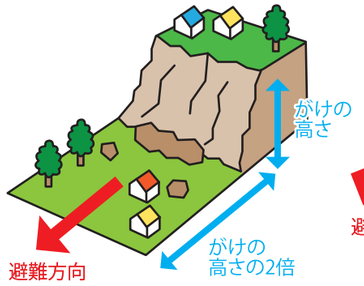
https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#elements:land/

避難のポイント（土砂災害編）

がけ崩れのおそれがある場合

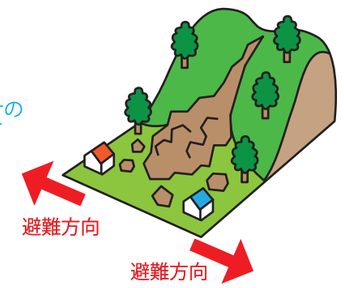
一般的に、がけ崩れの土砂は、地面が平らなところはがけの高さの2倍の距離までくるといわれています。

避難する場合は、がけからできるだけ遠くに逃げてください。



土石流のおそれがある場合

渓流沿いの低い土地から離れてください。土石流のスピードはとても速いので、土石流を見たら、流れに直角の方向に逃げましょう。



屋外に避難する場合

避難する際は、土砂災害警戒区域等（イエローゾーン・レッドゾーン）を通らないようにしましょう。ハザードマップで区域を確認してください。

屋外に避難できない場合

屋外に出ることがかえって危険な場合は、2階以上の斜面から離れた部屋で安全を確保してください。

雨がやんだ後も注意

これまで降った雨が土の中に残っています。雨がやんでも土砂災害が発生するおそれがあるので注意しましょう。

高　潮

関連WEBサイト

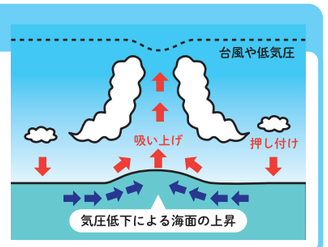
古賀市　気象警報・注意報　検索

気象庁　台風情報　検索

高潮の起こる仕組み

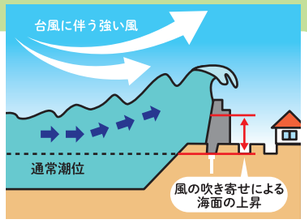
吸い上げ効果

台風や発達した低気圧の中心が接近すると、中心付近の気圧が低下し、海面が吸い上げられて上昇します。



吹き寄せ効果

台風による強い風が沖から海岸に向かって長時間吹き続けると、海水が海岸に吹き寄せられ、海岸付近の海面が異常に上昇します。



高潮の被害を受けやすい場所

河口のまわり



高潮の被害と河川の氾濫等、危険が重なる。

ゼロメートル地帯



平均海水面より低い土地は浸水の危険性が高い。

湾の奥のほう



押し寄せた海水がたまり、湾内の水位が上がる。

急に深くなる海底地形



押し寄せた波が海岸の近くで一気に高くなる。

台風

台風の大きさは、強風域（風速 15m/s 以上の強い風が吹いているか、吹く可能性がある範囲）の半径で表し、台風の強さは、最大風速で区分しています。

台風に関する情報の中では、台風の大きさと強さを組み合わせて、「大型で非常に強い台風」のように呼びます。

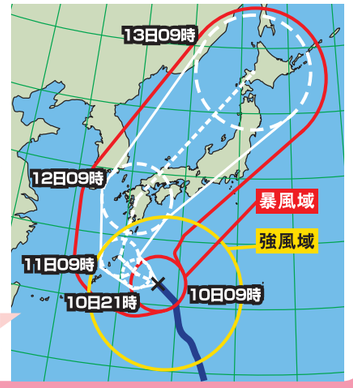
大きさの階級分け

階　級	風速15m/s以上の半径
大 型（大きい）	500km以上800km未満
超大型（非常に大きい）	800km以上

強さの階級分け

階　級	最 大 風 速
強い	33m/s以上44m/s未満
非常に強い	44m/s以上54m/s未満
猛烈な	54m/s以上

台風情報の例



台風が発生しやすい時期は、台風の進路を事前に確認して、適切な行動をとりましょう。



西側でも、地形によって高潮が発達する可能性がありますので、油断は禁物です。

東側では、風が特に強くなるため、高潮が異常に発達する可能性が高くなります。

避難のポイント（高潮編）

気象情報に注意

台風接近の数日前から気象情報や市からの情報に注意しましょう。



危険を感じたら早めに行動

夜間から明け方にかけて台風の強風域が最接近すると予想される場合は、市から早めの避難を呼びかけます。

海沿いに近づかない

海沿いへ様子を見に行くのはやめましょう。高波にのみ込まれるおそれがあります。



津　波

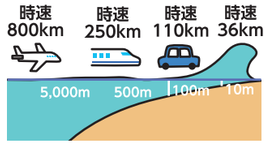
関連WEBサイト

古賀市　気象警報・注意報　検索

気象庁　津波　検索

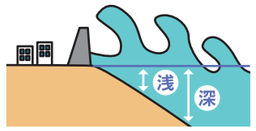
津波の特徴

ジェット機並みの速さ



津波の速さは海が深いほど速く、津波が見えてからでは逃げ切れません。

想像以上の高さ



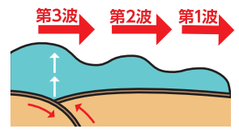
津波の高さは海岸の地形等で変わります。東日本大震災では、想像以上の高さの津波が発生しました。

予兆もなく襲ってくる



必ずしも、津波の前に引き潮（予兆）があるとは限りません。

津波は繰り返す



津波は繰り返しくるので、警報や注意報が解除されるまで沿岸部に近づかないでください。

津波に関する警報・注意報

津波による災害の発生が予想される場合には、地震発生後約3分で大津波警報、津波警報または津波注意報が気象庁から発表され、その後予想される津波の高さや津波の到着予想時刻などが発表されます。

	予想される津波の高さ		想定される被害
	数値での発表（発表基準）	巨大地震の場合の表現	
大津波警報	10m超（10m<高さ）	巨大	巨大な津波が襲い、木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれます。
	10m（5m<高さ≦10m）		
	5m（3m<高さ≦5m）		
津波警報	3m（1m<高さ≦3m）	高い	標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生します。人は津波による流れに巻き込まれます。
津波注意報	1m（20cm≦高さ≦1m）	（表記しない）	海の中では人は速い流れに巻き込まれます。養殖いかだが流出し小型船舶が転覆します。

地震発生後、予想される津波の高さが20cm未満で被害の心配がない場合、または津波注意報の解除後も海面変動が継続する場合には、「津波予報（若干の海面変動）」を発表します。

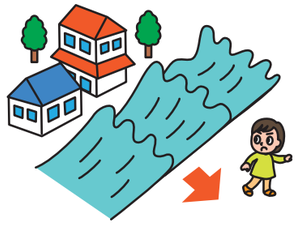
避難のポイント（津波編）

小さな揺れでも油断禁物！

小さな揺れの地震でも、長い時間ゆっくりとした揺れの場合、津波が来襲することがあります。

海岸や川には近づかない！

海岸はもちろん、津波は市街地よりも川を早くさかのぼりますので、川に近づかず避難しましょう。



率先避難者になりましょう

率先避難とは「緊急時に周囲に避難を呼びかけつつ、自ら率先して避難すること」を言います。率先避難者になることで、それを見ている周囲の人に避難行動を取らせるきっかけになります。



高い場所へ避難する

海岸から「より遠くへ」ではなく、「より高い」場所や建物へ避難しましょう。

津波避難施設に適した建物

- 昭和57年以降に建てられていること
- 鉄筋コンクリート構造物
- 3階以上であること



海抜表示板を目安に、より高いところをめざしてください。

地　震

関連WEBサイト

気象庁　気象警報・注意報　検索

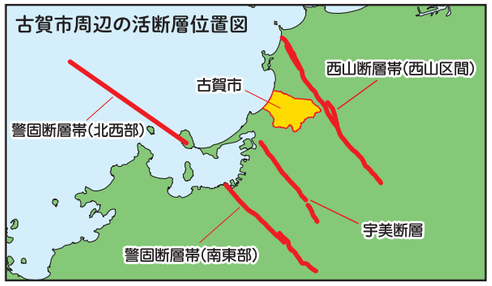
気象庁　地震情報　検索

古賀市で想定される地震

●古賀市周辺に存在する活断層の国等における評価

活断層名	警固断層帯（北西部）	警固断層帯（南東部）	西山断層帯（西山区間）	宇美断層
想定される地震の規模（マグニチュード）	7.0	7.2	7.6	7.1
今後30年以内に地震が発生する確率	不明	0.3～6%	不明	ほぼ0%

（令和6年3月　福岡県地域防災計画　地震・津波対策編より）



マンション特有の注意点

マンションでは、建物の構造や多くの人たちが一緒に生活しているという生活環境の特徴から、戸建て住宅とは異なる防災対策が必要となります。

●通路・非常口・非常階段

通路・非常口・非常階段などの共用部分に通行の妨げになるようなものを置かないようにしましょう。

また、一斉に階段を使用すると二次災害になるおそれがあるので、注意して使用しましょう。



●ベランダ

ベランダの避難ハッチ（非常脱出口）の使用方法を確認しておきましょう。

また、ハッチをふさぐようなものは置かないようにしましょう。



●エレベーターの停止

エレベーターが長時間停止した場合は、階段でしか移動できなくなります。

高層階に住む人ほど、水・食料などの運搬が困難になるので、平常時から多めに用意しておきましょう。



●管理組合からの連絡

防災設備の点検や防災訓練のお知らせなど、管理組合からの連絡には日頃から注意しましょう。



トイレ・ゴミの問題

配管・配水管が破損すると、トイレを使うことができません。高層階に住む人ほど、不便が大きくなります。

また、災害用の携帯トイレなどを使う際には、ゴミの問題とあわせて悪臭など衛生面の問題が発生します。



トイレが使えない場合の対応策

- ●簡易トイレや携帯トイレを使用する（保管場所・ゴミ出しのルールを決めておく）。
- ●簡易トイレの代わりとして、ビニール袋や新聞紙、消臭スプレー、重曹なども用意しておく。



地震ハザードマップ（揺れやすさマップ・危険度マップ）（P.63～66）

古賀市が平成25年3月に作成した、4種類の地震のケースによってシミュレーションした最大震度の分布状況と、建物が倒壊する可能性を地図上に示しています。

地震発生時のタイムライン

地震発生

まずは自分の身を守る



- ●机の下に入る。　●家具やガラス面から離れる。
- ●クッションや雑誌などで頭を保護する。

緊急地震速報

震源に近い観測点で地震を察知し、直ちに震源や地震の規模（マグニチュード）などを推定し、大きな揺れが始まる数秒前から数十秒前にお知らせするシステムです。情報が出たら、身を守ることを第一に、どのような行動がとれるか、日頃から話し合っておきましょう。

ここがポイント！

●人が大勢いる施設では

むやみに移動すると混乱をまねくおそれがあるため係員の指示に従い、落ち着いて行動する。

●山やがけ付近では

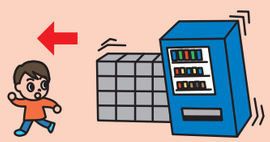
落石やがけ崩れに注意する。



●路上にいる！

窓ガラスや瓦などの落下物からカバンなどで頭を保護し、空き地や公園などに避難する。

注意 ブロック塀、自動販売機には近づかない。
倒れそうな電柱、垂れ下がった電線に注意する。



●車を運転している！

ハザードランプを点灯させ、徐々にスピードを落とし道路の左側に止めエンジンを切る。

がけや橋などの危険な場所にいる場合は、早く脱出する。

注意 避難するときはキーは付けたまま、ドアロックもしない。貴重品を持ち出し、徒歩で避難する。



●エレベーターの中にいる！

すべての階のボタンを押し、停止した階で降りる。

注意 閉じ込められても無理に脱出しようとせず、非常ボタンで外部と連絡をとり救出を待つ。



発生から1～2分

揺れがおさまったらまず火の始末

- ●脱出口を確保する。　●火元を確認する。
- ●家族の安全を確保する。　●靴をはく。



発生から3分

隣近所の安全確認

- ●隣近所に声をかける。　●余震に注意する。　●非常持出品を用意する。
- ●火事を見つけたら安全が確保できる範囲で初期消火する。



発生から5分

正しい情報を入手

- ●正しい情報を入手する。　●家屋倒壊などの危険があれば避難する。
- ●電話の使用は緊急連絡を優先する（回線が混雑するおそれ）。

⇒広域避難所へ避難　P.63～64



発生から10分

協力して消火・救出・救護活動

- ●救助活動は一人ではなく複数人で行う。
- ●壊れた家には入らない。



ハザードマップについて

ここがポイント!

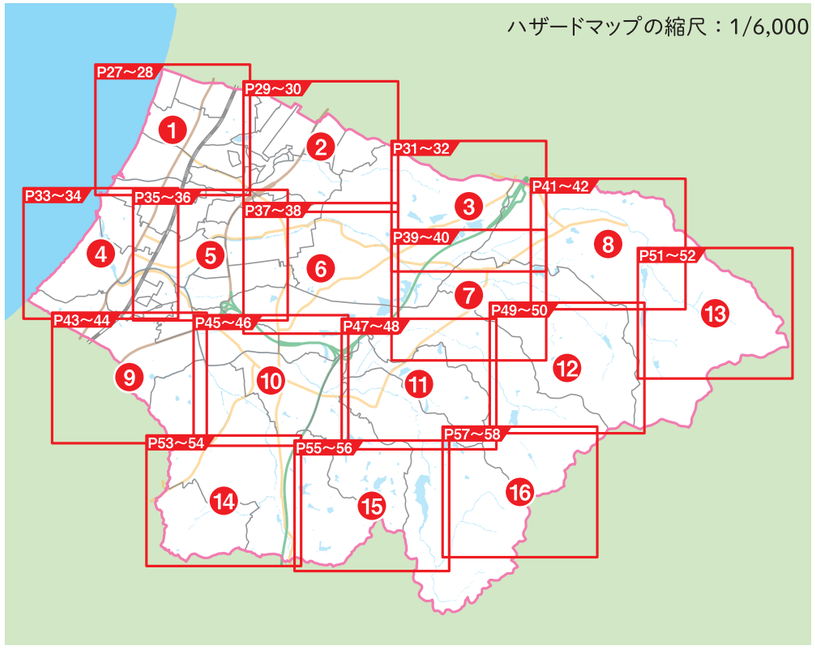
ハザードマップで確認したいポイント

- 自宅等の周辺で指定されている災害危険区域、災害実績箇所など
- 避難場所の位置、自宅から避難場所へ向かう経路、避難経路中の危険箇所
- 災害時に危険と思われる箇所（河川より低い道路、防護柵のない水路など）



洪水・土砂災害ハザードマップ（P.27～58）

行政区名	マップ番号
筵内区	❷❸❻❼
久保区	❷❺❻
久保西区	❶❷❺❻
庄北区	❺
庄南区	❺❻
古賀団地区	❶❺
中央区	❶❹❺
古賀北区	❶❹❺
古賀南区	❹❺
中川区	❶❹❺
鹿部区	❹❺❾❿
日吉台区	❹❺❾
新原区	❺❻❼❿⓫
今在家区	❺❻❾❿
青柳区	❾❿⓮⓯
小竹区	⓮
町川原1区	❿⓫⓮
町川原2区	❿⓫⓯
谷山区	❿⓫⓯⓰
小山田区	❻❼❿⓫⓬⓰
薬王寺区	❻❼⓫⓬⓰
米多比区	❸❼❽⓫⓬⓭
薦野区	❸❼❽⓬⓭



行政区名	マップ番号
古賀東区	❹❺
花鶴丘1丁目区	❹❺
花鶴丘2丁目1区	❹❺
花鶴丘2丁目2区	❹❺
花鶴丘2丁目3区	❹❺❾
花鶴丘3丁目区	❹❺❾❿

行政区名	マップ番号
病院区	❶❷❺
千鳥北区	❶❷
千鳥南区	❶❷
千鳥東区	❶❷
さや団地区	❷
高田区	❶❷❺❻
千鳥タウンコート区	❷
東浜山団地区	❶

行政区名	マップ番号
舞の里1区	❷
舞の里2区	❶❷
舞の里3区	❷
舞の里4区	❷
舞の里5区	❷
花見南区	❶
花見東1区	❶
花見東2区	❶
北花見区	❶

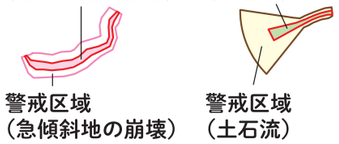
災害実績箇所

防災ワークショップを通して地域のみなさんから聞き取りした、過去の災害実績箇所を地図上に示しています。

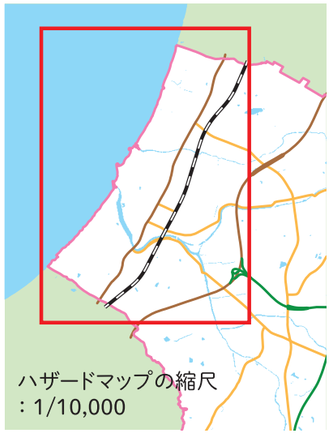
- 浸水実績
- 道路冠水被害
- 水路溢水被害
- 土砂災害被害

土砂災害警戒区域・特別警戒区域

福岡県が令和７年２月現在で告示している、「急傾斜地の崩壊」、「土石流」の土砂災害警戒区域・特別警戒区域と、福岡県が公表した新たな指定に向けた調査箇所を地図上に示しています。



高潮ハザードマップ（P.59～60）・津波ハザードマップ（P.61～62）



●浸水の深さ（高潮ハザードマップ掲載）
●基準水位（津波ハザードマップ掲載）



高潮浸水想定区域（高潮ハザードマップ掲載）

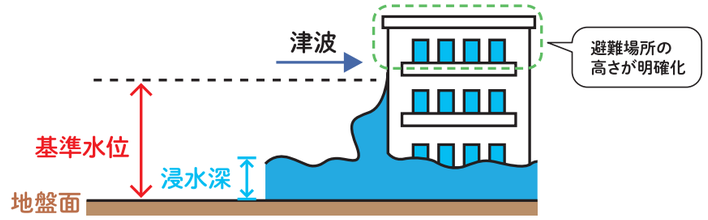
福岡県が平成30年3月に作成した、想定最大規模の台風に伴う高潮が発生したときの高潮浸水想定区域を地図上に示しています。

高潮浸水想定区域の作成にあたっては、最悪の事態を想定し、台風の強さと経路を複数設定してシミュレーションを行い、各地点で一番浸水の深いものを示しています。

津波災害警戒区域（津波ハザードマップ掲載）

津波災害警戒区域は、福岡県が平成30年3月に作成した、最大クラスの津波が発生した場合に、津波の警戒避難体制を特に整備すべき区域として、「基準水位」を地図上に示しています。津波災害警戒区域は、福岡県が平成28年2月に作成した津波浸水想定区域に基づいて作成しています。

基準水位は、津波浸水想定区域の浸水深に、建物等への衝突によるせき上げ高を考慮した水位で、津波から避難する上での有効な高さが想定できます。

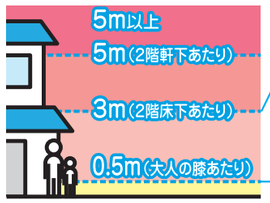


洪水浸水想定区域

福岡県が作成した、想定最大規模の大雨に伴う洪水によって河川が氾濫した場合の浸水範囲と浸水深を地図上に示しています。

対象河川	前提となる降雨	作成年月
大根川水系大根川	大根川流域の6時間の総雨量584mm	令和元年5月
大根川水系 谷山川、青柳川、 薬王寺川、米多比川		令和4年5月
中川水系中川	中川流域の24時間の総雨量1,105mm	令和5年5月

●浸水の深さ（洪水）



家屋の1階がすべて水に浸かってしまい、家財道具などに重大な被害がでます。

家屋が床上浸水します。また、自動車の走行が不可能となるばかりか歩くことも困難になり、生活に重大な影響がでます。

家屋倒壊等氾濫想定区域（早期の立退き避難が必要な区域）

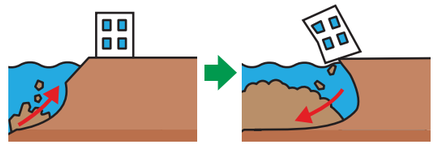
氾濫流による家屋倒壊等

堤防決壊などによる氾濫流によって木造家屋が流出・倒壊するおそれがある区域



河岸侵食による家屋倒壊等

洪水時の河岸侵食によって、木造・非木造の家屋が流出・倒壊するおそれがある区域



内水浸水想定区域

古賀市が作成した、想定最大規模の降雨（１時間雨量153mm）に伴う内水浸水の状況をシミュレーションにより作成したものです。

●想定最大規模降雨：降雨強度　153mm/hr

●浸水の深さ（内水）
- 0.05m～0.5m未満
- 0.5m～3m未満
- 3m以上

ため池ハザードマップ

防災重点農業用ため池が、満水時に自然災害等によって決壊した場合に、浸水の深さを示す浸水想定区域図を基に避難方向・避難所等を示したものです。なお、現在作成中です。詳細は市ホームページでご確認ください。

※防災重点農業用ため池…浸水想定区域内に家屋や公共施設が存在し、人的被害を与えるおそれのあるため池

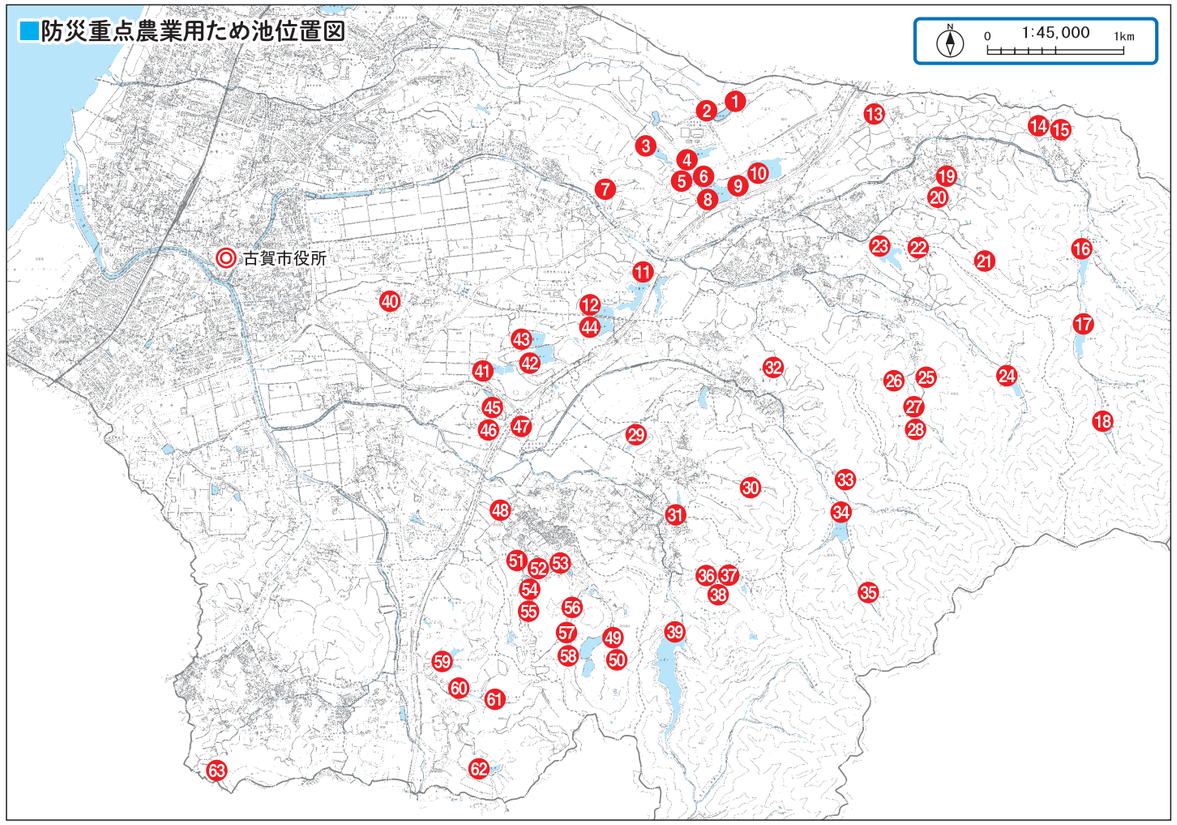
関連WEBサイト

古賀市　ため池ハザードマップ　検索

■防災重点農業用ため池一覧

行政区		ため池名称	貯水量(千㎥)	行政区		ため池名称	貯水量(千㎥)	行政区		ため池名称	貯水量(千㎥)
筵内	①	田倉池	5.6	薦野	㉒	釜蓋池	6.3	新原	㊸	馬違池	45.8
	②	浦田新池	18.9	米多比	㉓	飛池	92.8		㊹	五穀神池	44.9
	③	湯ノ浦池	40.0		㉔	妙見池	51.7	町川原1	㊺	五毛上池	28.2
	④	湯釜池	81.8		㉕	九郎次谷池	0.9		㊻	五毛下池	2.1
	⑤	高柳池	19.9		㉖	菅牟田池	0.1	町川原2	㊼	小山田池	7.6
	⑥	天神池	19.6		㉗	山ノ神下池	9.0		㊽	原池	2.2
	⑦	城ノ谷池	6.5		㉘	山ノ神上池	5.9		㊾	大浦下池	2.9
	⑧	峠下池	103.8	小山田	㉙	井堀池	39.0		㊿	大浦上池	7.6
	⑨	峠中池	20.2		㉚	寺浦池	5.9		(51)	道田池	13.7
	⑩	空池	62.1		㉛	鍛冶ヶ浦池	18.1		(52)	與八池	13.2
	⑪	丸尾池	139.6	薬王寺	㉜	浦田池	2.2		(53)	旧八幡池	9.2
	⑫	裏池	37.7		㉝	下ノ谷池	9.1		(54)	笹川下池	3.0
薦野	⑬	新堤	10.0		㉞	河内池	127.1		(55)	笹川上池	18.6
	⑭	北谷池	6.6		㉟	上河内池	14.1		(56)	牛ヶ谷下池	5.2
	⑮	泉池	0.5	谷山	㊱	新谷別当池	32.4		(57)	牛ヶ谷中池	23.3
	⑯	山ノ神池	76.2		㊲	旧谷別当池	15.5		(58)	牛ヶ谷上池	6.5
	⑰	小野池	63.1		㊳	櫟谷池	3.0	青柳	(59)	新砥石ヶ浦池	45.4
	⑱	鍋谷池	20.4		㊴	古賀ダム	985.0		(60)	中砥石ヶ浦池	8.0
	⑲	矢落池	18.7	新原	㊵	ウシロ池	10.0		(61)	上砥石ヶ浦池	17.5
	⑳	糸江池	13.2		㊶	四反田池	52.6		(62)	山見坂大池	29.8
薦野	㉑	貝地池	2.8		㊷	五毛池	102.8	小竹	(63)	上鳥越池	2.7

■防災重点農業用ため池位置図



大規模盛土造成地マップ

大規模盛土造成地マップは、福岡県が調査した宅地造成前後の地形図等を重ね合わせることにより抽出したおおむねの「位置」と「規模」を地図上に示しています。地図の精度により誤差を含んでいるため、個々の敷地を正確に特定するものではありません。

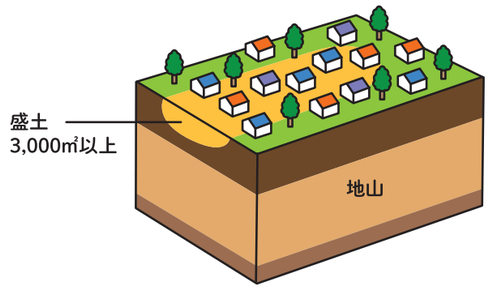
なお、マップに記載している大規模盛土造成地は、危険な箇所を示したものではありません。

大規模盛土造成地とは

盛土造成地のうち以下の条件に該当するものを「大規模盛土造成地」と呼びます。

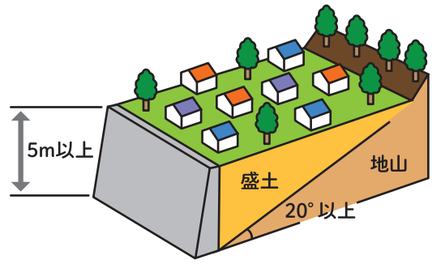
谷埋め型 大規模盛土造成地

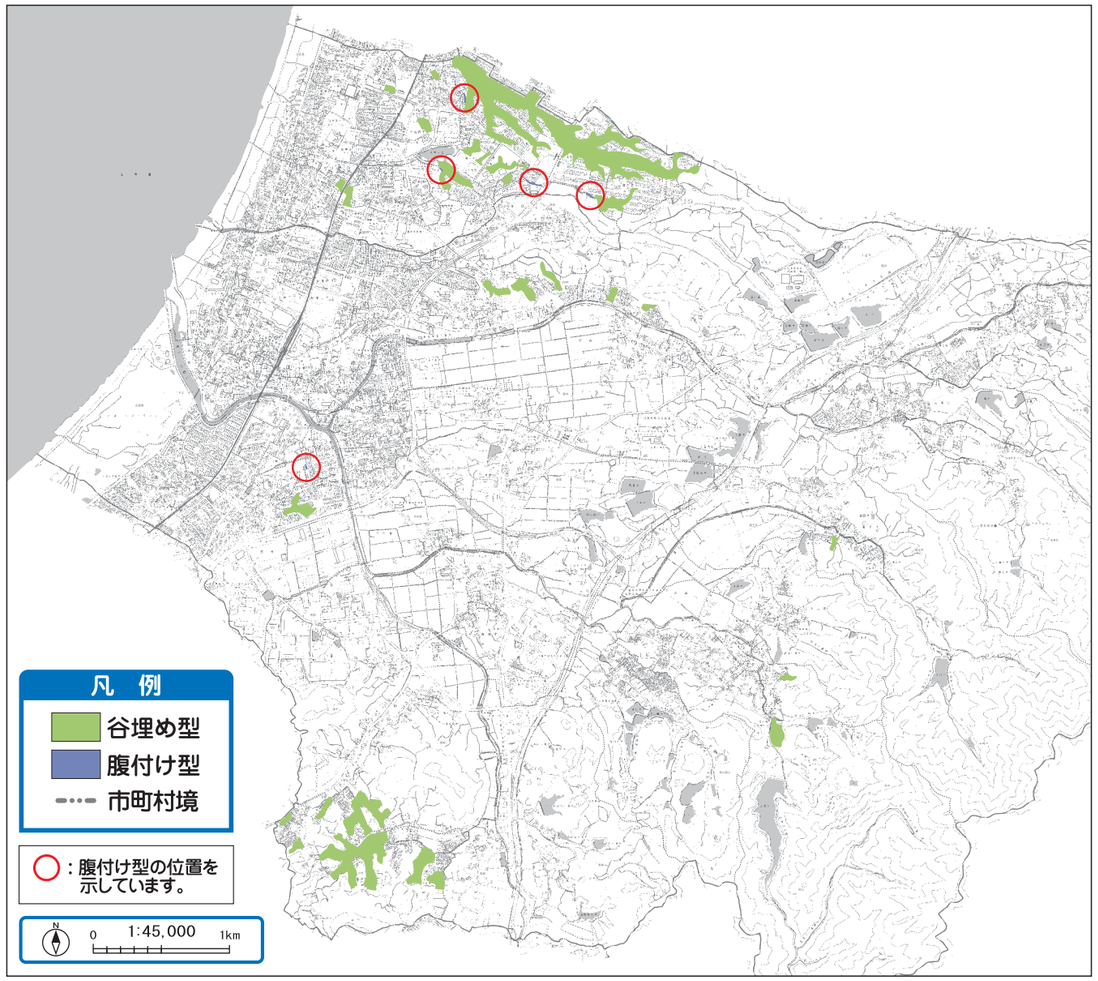
盛土の面積が3,000㎡以上

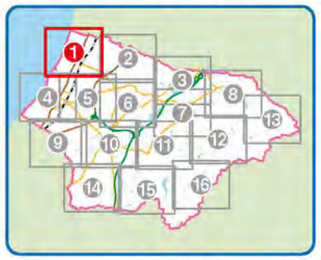


腹付け型 大規模盛土造成地

盛土する前の地盤面の水平面に対する角度が20度以上で、かつ、盛土の高さが5m以上

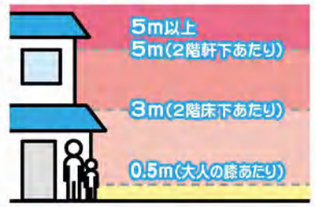






N 0 1:6,000 200m

洪水浸水想定区域



内水浸水想定区域

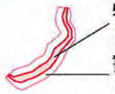
- 0.05m～0.5m未満
- 0.5m～3m未満

災害実績箇所

- 水路溢水被害
- 道路冠水被害

※過去の記録や、地域からの情報による主な災害実績を掲載しています。
（古賀市の資料より）

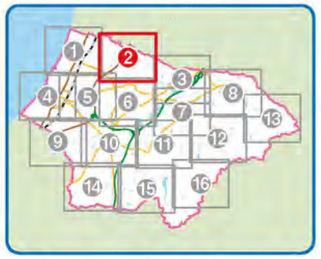
土砂災害警戒区域・特別警戒区域



防災関連情報

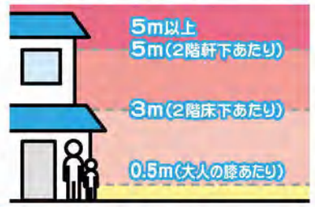
- 指定緊急避難場所(風水害時)
- 指定福祉避難所
- 市町境　地区境
- 国道　県道
- JR

福津市
北花見
花見東1
花見東2
花見南
千鳥北
千鳥南
東浜山団地
古賀団地
病院
玄界灘
JR鹿児島本線
JR千鳥駅
筑紫野古賀線
中川
北花見区集会所 79
花見東1区公民館 77
75 花見小学校
82 トライアル古賀花見店
80 暁の星幼稚園
福岡県立古賀特別支援学校小・中学部 4
古賀北中学校 57
千鳥小学校 56
千鳥北区公民館 59
千鳥苑 65
千鳥児童センター 68
福岡県立古賀特別支援学校高等部 5
東浜山団地区集会所 64
67 天理教西海大教会
千鳥南区公民館 60
福岡県障害者リハビリテーションセンター 3
66 福岡女学院看護大学
58 病院区集会所
9 古賀団地区公民館
花見東2区公民館 78
花見南区公民館 76
正興電機製作所青和寮 81
正興電機製作所 20



N 0 1:6,000 200m

洪水浸水想定区域



内水浸水想定区域

- 0.05m～0.5m未満
- 0.5m～3m未満

災害実績箇所

- 水路溢水被害
- 道路冠水被害
- 土砂災害被害

※過去の記録や、地域からの情報による主な災害実績を掲載しています。
（古賀市の資料より）

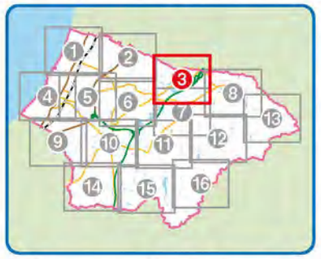
土砂災害警戒区域・特別警戒区域



※点線表示は土砂災害警戒区域等の新たな指定に向けた調査箇所となっています。

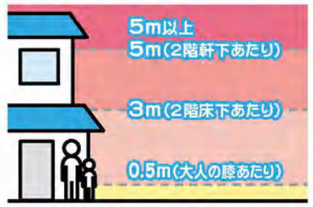
防災関連情報

- 指定緊急避難場所(風水害時)
- 指定福祉避難所
- アンダーパス
- 市町境　地区境
- 国道　県道



N 0 1:6,000 200m

洪水浸水想定区域



家屋倒壊等氾濫想定区域

- 河岸侵食による家屋倒壊等

内水浸水想定区域

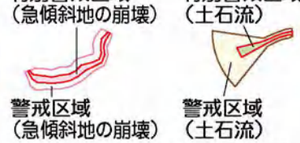
- 0.05m～0.5m未満
- 0.5m～3m未満

災害実績箇所

- 水路溢水被害
- 道路冠水被害
- 土砂災害被害

※過去の記録や、地域からの情報による主な災害実績を掲載しています。
（古賀市の資料より）

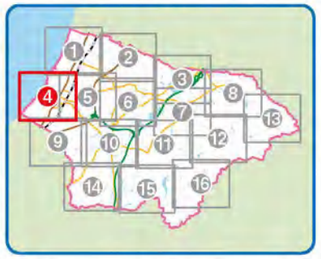
土砂災害警戒区域・特別警戒区域



※点線表示は土砂災害警戒区域等の新たな指定に向けた調査箇所となっています。

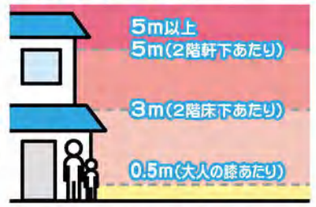
防災関連情報

- 指定緊急避難場所(風水害時)
- ⊗ 駐在所
- 防災重点農業用ため池
- 市町境 ---- 地区境
- 高速道路 県道



1:6,000
0 200m

洪水浸水想定区域



家屋倒壊等氾濫想定区域

- 河岸侵食による家屋倒壊等

内水浸水想定区域

- 0.05m～0.5m未満
- 0.5m～3m未満
- 3m以上

災害実績箇所

- 浸水実績
- 水路溢水被害
- 道路冠水被害
- 土砂災害被害

※過去の記録や、地域からの情報による主な災害実績を掲載しています。
（古賀市の資料より）

土砂災害警戒区域・特別警戒区域

- 特別警戒区域（急傾斜地の崩壊）
- 警戒区域（急傾斜地の崩壊）

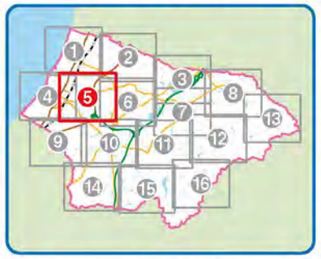
※点線表示は土砂災害警戒区域等の新たな指定に向けた調査箇所となっています。

防災関連情報

- 指定緊急避難場所(風水害時)
- 交番
- アンダーパス
- 市町境　地区境
- 国道　県道
- JR

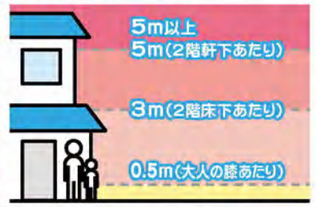
13 古賀西小学校
15 中川区公民館
古賀交番
18 古賀北区公民館
19 サンリブ古賀
あおやぎ古賀会館 52
古賀南区公民館 14
古賀東区公民館 46
花鶴丘1丁目区公民館 47
17 日吉台区公民館
花鶴丘2丁目2区集会所 49
花鶴小学校 45
花鶴丘2丁目1区集会所 48
50 花鶴丘2丁目3区公民館

玄界灘
古賀南
古賀北
古賀東
日吉台
花鶴丘1丁目
花鶴丘2丁目2
花鶴丘2丁目1
花鶴丘2丁目3
大根川
JR古賀駅
JR鹿児島本線
国道495



N 0 1:6,000 200m

洪水浸水想定区域



家屋倒壊等氾濫想定区域

- 氾濫流による家屋倒壊等
- 河岸侵食による家屋倒壊等

内水浸水想定区域

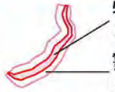
- 0.05m～0.5m未満
- 0.5m～3m未満
- 3m以上

災害実績箇所

- 浸水実績
- 水路溢水被害
- 道路冠水被害
- 土砂災害被害

※過去の記録や、地域からの情報による主な災害実績を掲載しています。
（古賀市の資料より）

土砂災害警戒区域・特別警戒区域

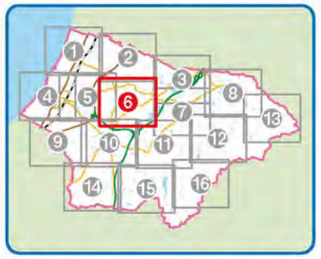


※点線表示は土砂災害警戒区域等の新たな指定に向けた調査箇所となっています。

防災関連情報

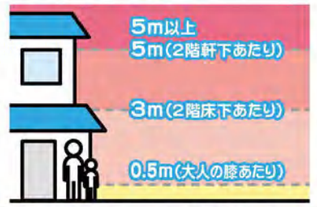
- 指定緊急避難場所(風水害時)
- 指定福祉避難所
- 市役所　交番
- 水位観測所
- 河川カメラ
- アンダーパス
- 防災重点農業用ため池
- 地区境
- 高速道路　国道
- 県道　JR

古賀団地
9 古賀団地区公民館
中川
中央区公民館 10
久保西区公民館 6
古賀東小学校 1
久保区公民館 5
15 中川区公民館
古賀交番
18 古賀北区公民館
19 サンリブ古賀
52 あおやぎ古賀会館
53 リーパス プラザこが
54 古賀市役所
2 古賀中学校
大根川
古賀北
古賀東
久保
14 古賀南区公民館
JR古賀駅
JR鹿児島本線
古賀東区公民館 46
庄橋
庄北区公民館 7
庄南区公民館 8
花鶴丘1丁目区公民館 47
花鶴丘1丁目
49 花鶴丘2丁目2区集会所
花鶴丘2丁目2
花鶴丘2丁目1
花鶴小学校 45
48 花鶴丘2丁目1区集会所
花鶴丘2丁目3
花鶴丘3丁目区公民館 51
50 花鶴丘2丁目3区公民館
庄北
庄南
1 11 サンコスモ古賀
ウシロ池
筑紫野古賀線
JA粕屋北部プラザ 32
新原区公民館 23



N 0 1:6,000 200m

洪水浸水想定区域



家屋倒壊等氾濫想定区域

- 氾濫流による家屋倒壊等
- 河岸侵食による家屋倒壊等

内水浸水想定区域

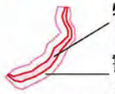
- 0.05m～0.5m未満
- 0.5m～3m未満

災害実績箇所

- 水路溢水被害
- 道路冠水被害
- 土砂災害被害

※過去の記録や、地域からの情報による主な災害実績を掲載しています。
（古賀市の資料より）

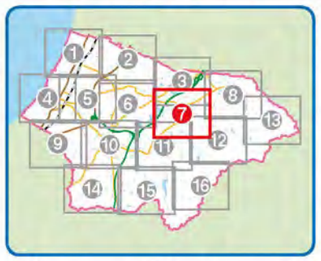
土砂災害警戒区域・特別警戒区域



※点線表示は土砂災害警戒区域等の新たな指定に向けた調査箇所となっています。

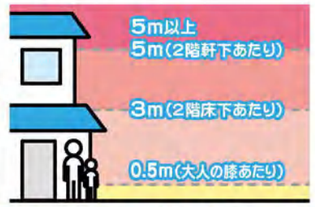
防災関連情報

- 指定緊急避難場所(風水害時)
- 指定福祉避難所
- 防災重点農業用ため池
- 地区境
- 高速道路
- 国道
- 県道



N 0 1:6,000 200m

洪水浸水想定区域



家屋倒壊等氾濫想定区域

河岸侵食による家屋倒壊等

内水浸水想定区域

0.05m～0.5m未満
0.5m～3m未満
3m以上

災害実績箇所

水路溢水被害
道路冠水被害
土砂災害被害

※過去の記録や、地域からの情報による主な災害実績を掲載しています。
（古賀市の資料より）

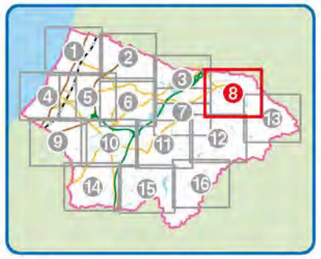
土砂災害警戒区域・特別警戒区域

特別警戒区域（急傾斜地の崩壊）
特別警戒区域（土石流）
警戒区域（急傾斜地の崩壊）
警戒区域（土石流）

※点線表示は土砂災害警戒区域等の新たな指定に向けた調査箇所となっています。

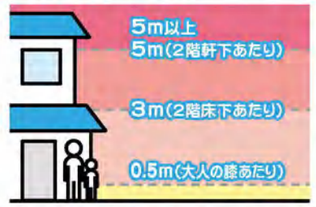
防災関連情報

指定緊急避難場所(風水害時)
駐在所
雨量観測所
防災重点農業用ため池
地区境
高速道路 県道



N 0 1:6,000 200m

洪水浸水想定区域



家屋倒壊等氾濫想定区域

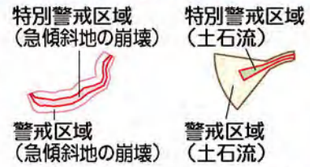
河岸侵食による家屋倒壊等

災害実績箇所

- 水路溢水被害
- 道路冠水被害
- 土砂災害被害

※過去の記録や、地域からの情報による主な災害実績を掲載しています。
(古賀市の資料より)

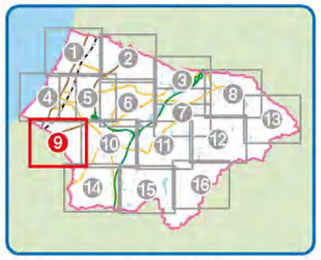
土砂災害警戒区域・特別警戒区域



※点線表示は土砂災害警戒区域等の新たな指定に向けた調査箇所となっています。

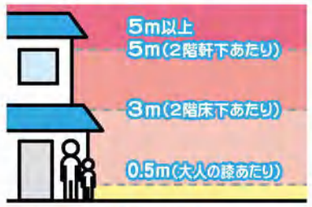
防災関連情報

- 指定緊急避難場所(風水害時)
- 防災重点農業用ため池
- 市町境 ---- 地区境
- 県道



N 0 1:6,000 200m

洪水浸水想定区域



内水浸水想定区域

- 0.05m～0.5m未満
- 0.5m～3m未満
- 3m以上

災害実績箇所

- 浸水実績
- 道路冠水被害
- 土砂災害被害

※過去の記録や、地域からの情報による主な災害実績を掲載しています。
（古賀市の資料より）

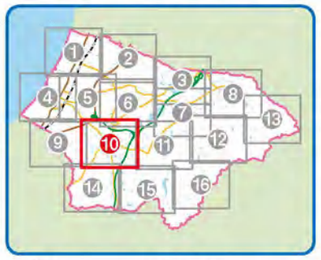
土砂災害警戒区域・特別警戒区域



※点線表示は土砂災害警戒区域等の新たな指定に向けた調査箇所となっています。

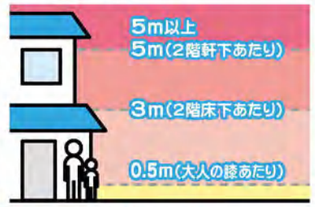
防災関連情報

- 指定緊急避難場所(風水害時)
- アンダーパス
- 市町境
- 地区境
- 国道
- 県道
- JR



N 0 1:6,000 200m

洪水浸水想定区域



内水浸水想定区域

- 0.05m～0.5m未満
- 0.5m～3m未満
- 3m以上

災害実績箇所

- 水路溢水被害
- 道路冠水被害
- 土砂災害被害

※過去の記録や、地域からの情報による主な災害実績を掲載しています。
（古賀市の資料より）

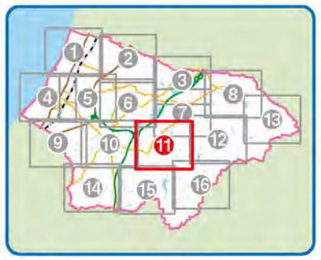
土砂災害警戒区域・特別警戒区域

- 特別警戒区域（急傾斜地の崩壊）
- 警戒区域（急傾斜地の崩壊）

※点線表示は土砂災害警戒区域等の新たな指定に向けた調査箇所となっています。

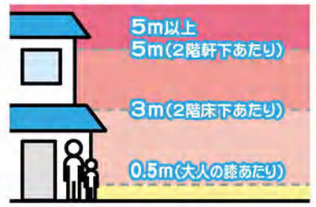
防災関連情報

- 指定緊急避難場所(風水害時)
- 消防署
- 交番
- 危機管理型水位計
- 河川カメラ
- アンダーパス
- 防災重点農業用ため池
- 地区境
- 高速道路
- 国道
- 県道



N 0 1:6,000 200m

洪水浸水想定区域



内水浸水想定区域

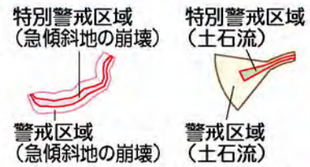
- 0.05m～0.5m未満
- 0.5m～3m未満

災害実績箇所

- 水路溢水被害
- 道路冠水被害
- 土砂災害被害

※過去の記録や、地域からの情報による主な災害実績を掲載しています。
（古賀市の資料より）

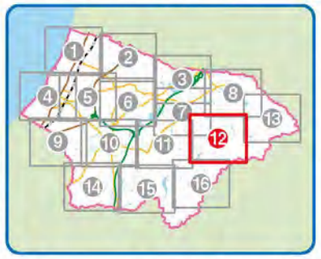
土砂災害警戒区域・特別警戒区域



※点線表示は土砂災害警戒区域等の新たな指定に向けた調査箇所となっています。

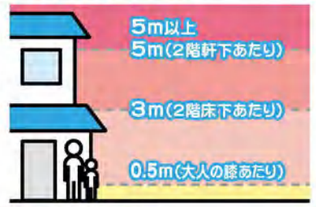
防災関連情報

- 指定緊急避難場所(風水害時)
- 防災重点農業用ため池
- 地区境
- 高速道路
- 県道



N 0 1:6,000 200m

洪水浸水想定区域

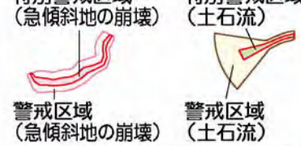


災害実績箇所

- 道路冠水被害
- 土砂災害被害

※過去の記録や、地域からの情報による主な災害実績を掲載しています。
（古賀市の資料より）

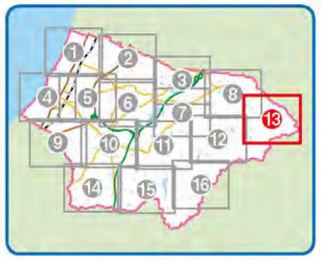
土砂災害警戒区域・特別警戒区域



※点線表示は土砂災害警戒区域等の新たな指定に向けた調査箇所となっています。

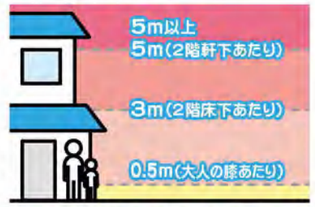
防災関連情報

- 防災重点農業用ため池
- 市町境
- 地区境



N 0 1:6,000 200m

洪水浸水想定区域



家屋倒壊等氾濫想定区域

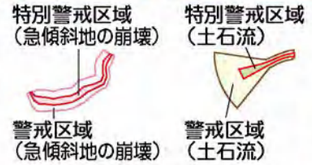
河岸侵食による家屋倒壊等

災害実績箇所

道路冠水被害

※過去の記録や、地域からの情報による主な災害実績を掲載しています。
（古賀市の資料より）

土砂災害警戒区域・特別警戒区域



※点線表示は土砂災害警戒区域等の新たな指定に向けた調査箇所となっています。

防災関連情報

防災重点農業用ため池

市町境　地区境

青柳区公民館 25

小竹区公民館 26

福岡県
動物愛護センター 31

新宮町

青柳

小竹

上鳥越池

筑紫野古賀線

青柳川

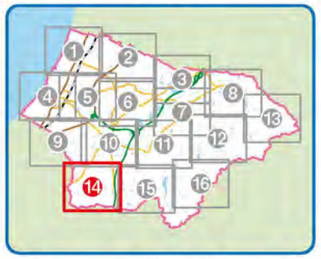
九州自動車道

新砥石ケ浦池

国道504

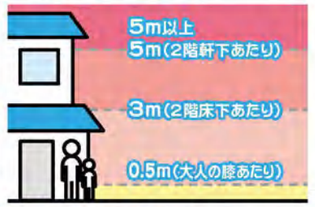
国道35

洪水・土砂災害ハザードマップ 14



N 0 1:6,000 200m

洪水浸水想定区域



内水浸水想定区域

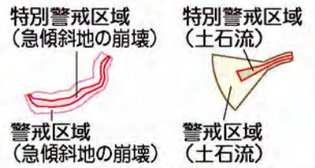
- 0.05m～0.5m未満
- 0.5m～3m未満
- 3m以上

災害実績箇所

- 浸水実績
- 水路溢水被害
- 道路冠水被害
- 土砂災害被害

※過去の記録や、地域からの情報による主な災害実績を掲載しています。
（古賀市の資料より）

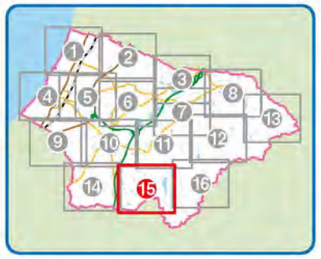
土砂災害警戒区域・特別警戒区域



※点線表示は土砂災害警戒区域等の新たな指定に向けた調査箇所となっています。

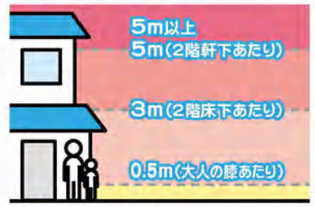
防災関連情報

- 指定緊急避難場所(風水害時)
- 防災重点農業用ため池
- 市町境 地区境
- 高速道路 県道



N 0 1:6,000 200m

洪水浸水想定区域



内水浸水想定区域

- 0.05m～0.5m未満
- 0.5m～3m未満

土砂災害警戒区域・特別警戒区域



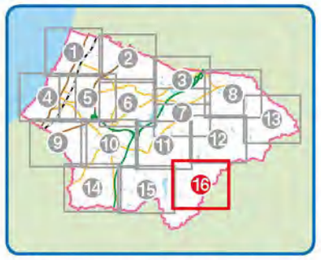
※点線表示は土砂災害警戒区域等の新たな指定に向けた調査箇所となっています。

防災関連情報

- 防災重点農業用ため池
- 市町境　地区境
- 高速道路

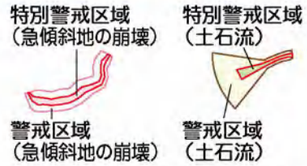
旧谷別当池
新谷別当池
欅谷池
上河内池
薬王寺
谷山
久山町

洪水・土砂災害ハザードマップ 16



N 0 1:6,000 200m

土砂災害警戒区域・特別警戒区域



※点線表示は土砂災害警戒区域等の新たな指定に向けた調査箇所となっています。

防災関連情報

防災重点農業用ため池
市町境　地区境

高潮ハザードマップ

高潮浸水想定区域（平成30年　福岡県作成）

- 中　心　気　圧：室戸台風（1934年）を基本（最大900 hPa）
- 台 風 の 半 径：75 km（伊勢湾台風（1959年）を参考）
- 台風の移動速度：73 km/h（同上）
- 台 風 の 経 路：様々な台風経路による高潮偏差を確認した結果、高潮偏差が最大となる東進型の経路を採用
- 潮　　位：朔望平均満潮位 1.29 T.P.m
- 構　造　物：護岸、堤防等は全て決壊

古賀市に対する高潮の影響

浸水面積 **130 ha**

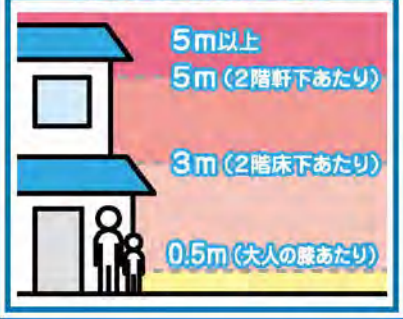
最大高潮水位 **5.9 T.P.m**

※このマップに示した浸水域以外でも、浸水被害が発生する可能性があります。また、大雨による河川の氾濫や道路冠水などの複合災害の発生にも注意してください。

※T.P.：東京湾平均海面を表し、全国の標高の基準となる高さ。

凡　例

高潮浸水想定区域



防災関連情報

- 指定緊急避難場所(風水害時)
- 市役所
- 消防署
- 交番
- 市町境
- 地区境
- 高速道路
- 国道
- 県道
- JR

N　0　1:10,000　400m

避難のポイント（高潮編）

- 気象情報に注意
- 危険を感じたら早めに行動
- 海沿いに近づかない

※詳しくはP.19を参照

北花見区集会所 79
花見東1区公民館 77
82 トライアル古賀花見店
75 花見小学校
JR千鳥駅
80 暁の星幼稚園
76 花見南区公民館
78 花見東2区公民館
千鳥北区公民館 59
千鳥児童センター 68
天理教西海大教会
67
千鳥南区公民館 60
81 正興電機製作所 青和寮
58 病院区集会所
66 福岡女学院看護大学
20 正興電機製作所
9 古賀団地区公民館
10 中央区公民館
玄界灘
古賀西小学校 13
15 中川区公民館
古賀交番
19 サンリブ古賀
18 古賀北区公民館
JR古賀駅
52 あおやぎ 古賀会館
53 リーパスプラザこが
古賀南区公民館 14
46 古賀東区公民館
54 古賀市役所
庄北区公民館 7
庄南区公民館 8
47 花鶴丘1丁目区公民館
17 日吉台区公民館
49 花鶴丘2丁目2区集会所
48 花鶴丘2丁目1区集会所
45 花鶴小学校
50 花鶴丘2丁目3区公民館
51 花鶴丘3丁目区公民館
クラブハウス 古賀支店
33
粕屋北部 消防本部
鹿部区公民館 16
ししぶ交流センター 21
JRししぶ駅
JR鹿児島本線
新宮町
古賀南
古賀ゴルフ・クラブ
福津市
北花見
花見東1
花見東2
花見南
古賀団地
中川
中央
古賀北
古賀
日吉台
鹿部
今在家
矢根川
大根川
谷山川
国道495
国道3
県道35
県道534
県道536

津波ハザードマップ

津波災害警戒区域（平成30年　福岡県作成）

「津波災害警戒区域」は、津波が発生した場合に生命・身体に危害が生ずるおそれがある区域で、津波被害を防止するために警戒避難体制を特に整備すべき区域です。
津波浸水想定区域（平成28年　福岡県作成）をもとに設定されています。

- 想定津波：西山断層（M=7.6）による最大クラスの津波
- 潮　　位：朔望平均満潮位 1.16 T.P.m
- 構 造 物：地震及び液状化によりすべて破壊

古賀市に対する津波の影響（津波浸水想定区域より）

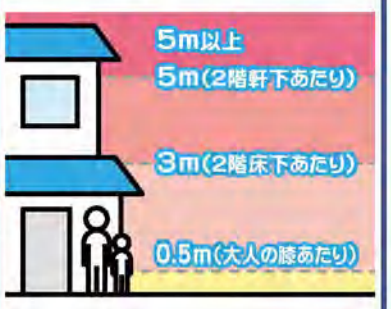
浸水面積	最高津波水位	最高津波到達時間
10 ha	2.6 T.P.m	1分

※T.P.：東京湾平均海面を表し、全国の標高の基準となる高さ。

※このマップに示した浸水域以外でも、津波による浸水被害や地震等による複合災害が発生する可能性があります。

凡　例

津波災害警戒区域（基準水位）



防災関連情報

- 指定緊急避難場所（風水害時）
- 広域避難所（地震時）
- 市役所
- 消防署　交番
- 避難方向
- 市町境　地区境
- 高速道路　国道
- 県道　JR

N　0　1:10,000　400m

避難のポイント（津波編）

- 小さな揺れでも油断禁物!
- 海岸や川には近づかない!
- 率先避難者になりましょう
- 高い場所へ避難する

※詳しくはP.20を参照

地震ハザードマップ（揺れやすさマップ）

※地震に関する防災アセスメント調査（平成24年　福岡県作成）の結果を基に、古賀市が作成しています。

揺れやすさマップとは

揺れやすさマップは、古賀市に影響を与える地震が発生した場合に、どのくらいの震度が予想されるかを地図上に示したものです（平成25年　古賀市作成）。

このマップでは、古賀市周辺の主要活断層による3ケースの地震と直下型地震の計4ケースを想定し、それぞれの計算結果の最大値を表しています。

計算結果は、50m四方の「メッシュ」単位で示しています。

想定した地震の規模

①西山断層（M=7.3）
②宇美断層（M=6.9）
③警固断層（M=7.2）
④直下型地震（M=6.9）

地震が発生したら

まずは自分の身を守る

- 机の下に入る。
- 家具やガラス面から離れる。
- クッションや雑誌などで頭を保護する。

※詳しくはP.22を参照

凡　例

揺れやすさ

- 震度５強
- 震度６弱
- 震度６強

防災関連情報

- 広域避難所（地震時）

N　0　1:30,000　1km

震度5強

- 物につかまらないと歩くことが難しい。
- 棚にある食器類や本など、落ちるものが多くなる。
- 固定していない家具が倒れることがある。
- 補強されていないブロック塀が崩れることがある。

震度6弱

- 立っていることが困難になる。
- 固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。
- 壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。
- 耐震性の低い木造建物は、傾いたり、倒れたりすることがある。

震度6強

- はわないと動くことができない。飛ばされることもある。
- 固定されていない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多くなる。
- 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが多くなる。
- 大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりやがけ崩れが発生することがある。

広域避難所（地震時）

古賀東	1 古賀東小学校グラウンド	青柳	35 中ノ坪公園	千鳥	69 千鳥小学校グラウンド
	2 古賀中学校グラウンド		36 三田浦公園		70 古賀北中学校グラウンド
	3 古賀東中学校グラウンド		37 糸ヶ浦公園		71 千鳥ヶ池公園第2駐車場
	4 上川原公園		38 村中公園		72 千鳥公園
	5 古川公園		39 石瓦公園		73 弥生第1公園
	6 玄望園1号公園		40 青柳台公園		74 弥生第2公園
	7 玄望園2号公園		41 堂ノ浦公園		75 弥生第3公園
	8 久保団地1号公園		42 古賀グリーンパーク		76 高田公園
	9 久保団地2号公園		43 町川原2区公園		77 長崎公園
	10 久保団地3号公園		44 JA粕屋北部プラザ		78 美郷公園
	11 久保団地4号公園		45 JAやすらぎ会館こが駐車場	舞の里	79 舞の里小学校グラウンド
	12 庄北公園	小野	46 小野小学校グラウンド		80 牟田公園
	13 島ノ元公園		47 後田公園		81 北ヶ裏公園
	14 井手流公園		48 室公園		82 千鳥ヶ池公園
	15 五楽公園		49 薬王寺水辺公園		83 天崎公園
	16 流公園		50 薬王寺公園		84 佐谷公園
	17 団地西公園		51 岸添公園		85 舞の里公園
	18 団地東公園		52 ぎおんだ公園		86 黒薄公園
古賀西	19 古賀西小学校グラウンド		53 大地田公園		87 森の前公園
	20 汐入公園		54 小野公園	花見	88 花見小学校グラウンド
	21 花鶴が浜公園		55 小野公園美原園駐車場		89 花見東松林公園
	22 花鶴皇石公園		56 峠公園		90 旭町公園
	23 中川公園		57 やまびこ幼稚園園庭		91 グリーン苑1号公園
	24 緑ヶ丘公園	花鶴	58 花鶴小学校グラウンド		92 グリーン苑2号公園
	25 東ヶ丘2号公園		59 古賀市民グラウンド		93 西町公園
	26 西浜2号公園		60 花鶴1号公園		94 花見台公園
	27 ふれあい広場テニスコート横		61 花鶴2号公園		95 花見東いこいの広場
	28 浜公園		62 花鶴3号公園		96 はなみ公園
	29 ジェイフォレスト日吉公園		63 花鶴4号公園		97 花見苑1号公園
	30 日吉公園		64 鹿部山公園		98 花見苑2号公園
	31 浜大塚通り公園		65 みあけ史跡公園		99 東花見公園
	32 堀川公園		66 権現公園		100 花みの森公園
	33 五ノ坪公園		67 播摩公園		101 暁の星幼稚園敷地内
青柳	34 青柳小学校グラウンド		68 小牧公園		

地震ハザードマップ（危険度マップ）

※地震に関する防災アセスメント調査（平成24年　福岡県作成）の結果を基に、古賀市が作成しています。

危険度マップとは

危険度マップは、地震によって発生する建物被害の分布を地図上に示したものです。
具体的には、「揺れやすさマップ」で示した強さの地震が発生した場合の、建物被害の程度（建物全壊率）を表しています。

建物全壊率とは

約50mメッシュ単位の地域に建っている建物の中で何%の建物が全壊するかを示しています。
建物全壊率の数値が大きいほど、被害が大きくなります。

凡　例

建物全壊率

高 建物被害危険度 低

- 30%～
- 20～30%
- 10～20%
- 7～10%
- 5～7%
- 3～5%
- 0～3%

N　0　1:30,000　1km

「全壊」とは

全壊とは、自然災害による建物被害の程度の中で、最も大きく被害を受けた状態であり、居住のための基本的な機能を失った状態を指します。



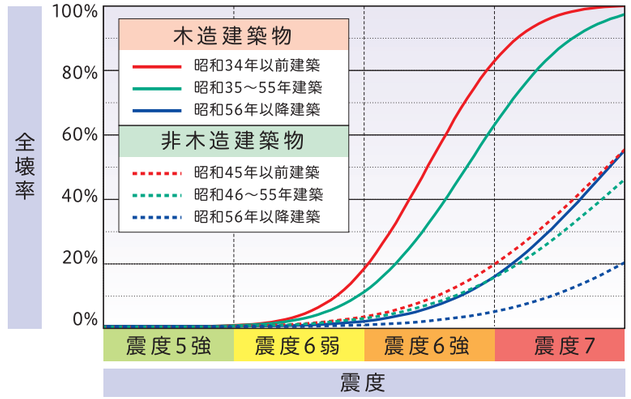
住宅の全体、もしくは一部の階が全て倒壊している。



外壁や柱の傾斜が1/20以上である。

震度と建物全壊率の関係

下のグラフは過去の地震による建物被害の統計から、震度と建物（構造・年代別）の全壊率の関係を導き出したものです。
古い耐震基準をもとに建てられた建物ほど全壊率が高く、特に震度6弱～6強から急激に高くなり始めます。震度7では昭和56年5月以前の旧耐震基準により建てられた木造建築物の全壊率は90%以上になると想定されます。



※「地震防災マップ作成技術資料（内閣府/平成17年）」より作成
※このグラフは過去の地震による建物被害の統計値から算出されたものです。
個々の建物の耐震性を建築年で一律に評価するものではありません。